



神奈川県

都市部なぎさ・相模川プラン推進室

国道134号とその沿道および海浜を中心とした湘南のより良い環境形成に向けて

湘南なぎさデザイン ガイドライン

INDEX

ガイドラインの活用	2
1 ガイドラインの位置づけ	
2 ガイドラインの目的	
3 ガイドラインの使い方	
1 デザインの基本的考え方	5
1-1 公共施設デザインの役割	
1-2 事業担当者の5つの心構えと5つの留意事項	
2 湘南地域の景観形成の6つのキーワード	7
3 国道134号を中心とした湘南なぎさプラン対象地域のゾーニングと各ゾーンの特徴	9
4 指針	11
4-1 国道134号の景観の考え方	11
①歩道舗装材	12
②車道照明・信号・トラフィックカウンタ	13
③歩道照明	14
④車止め(歩道内設置型)	15
(海浜部へのアプローチ設置型)	
⑤防護柵	16
⑥転落防止柵	16
⑦電話ボックス	17
⑧バスシェルター	17
⑨歩道橋	18
⑩橋梁	18
4-2 海浜部の景観デザインの考え方	19
①突堤・護岸・離岸堤	20
②導流堤・河川護岸	21
③人工海浜	21
④ゴミ箱	22
⑤管理施設	22
⑥海水浴場関連施設	23
4-3 両方に関わる景観の考え方	25
①高木植栽	25
②低木植栽	25
③彩り(花)	25
④砂防柵	25
⑤防風ネット	28
⑥サイン	29
⑦建築物(一般)	32
⑧建築物(利便施設)	35
⑨駐車場	36
参考資料	37

湘南なぎさデザイン指針検討委員会

設置

昭和63年

主旨と活動

湘南なぎさプランの対象地域における景観の在り方の整理。国道134号とその沿道および海浜におけるデザインの指針の作成。

委員会メンバー

篠原修 東京大学助教授(委員長)
 高橋志保彦 神奈川大学教授
 上山良子 ランドスケープアーキテクト
 小林重敬 横浜国立大学教授
 神奈川県土木部総括企画主幹
 神奈川県土木部道路管理課長
 神奈川県土木部道路整備課長
 神奈川県土木部河港課長
 神奈川県土木部砂防課長
 神奈川県土木部湘南海岸整備事務所長
 神奈川県都市部都市政策課長
 神奈川県都市部都市計画課長
 神奈川県都市部建築指導課長
 神奈川県都市部なぎさ・相模川プラン推進室長
 神奈川県警察交通部交通規制課長
 平塚市都市部長
 藤沢市計画建築部長
 茅ヶ崎市都市整備部長(平成元年度まで企画部長)
 大磯町総務部長



ガイドラインの活用方法

1. ガイドラインの位置づけ

神奈川県・平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・大磯町は、昭和60年に「豊かなみどりと美しいなぎさが生かされた、快適で過ごしやすい海岸文化ゾーン・湘南」を基本理念として、「21世紀を展望した湘南海岸地域のあるべき方向」を定めた総合的整備計画「湘南なぎさプラン」を策定しました。

このプランに基づいて、県の事業を中心に各所でさまざまな整備が進められています。これらは道路、公園、海岸保全施設、公共建築など多岐にわたっており、こうした公共施設は地域の景観形成に大きな影響を与えるものとなります。

公共施設のデザインは、常に湘南なぎさプラン対象地域全体のイメージを考慮して進めていかねばなりません。この地域全体を景観的視点からとらえ、施設のデザインの指針をつくるために、昭和63年に「湘南なぎさデザイン指針検討委員会」が組織され、国道134号とその沿道および海浜を中心に公共施設などのデザインの在り方の検討を進めてきました。本ガイドラインはその概要をまとめたものです。

●このガイドラインは、湘南なぎさプラン対象地域のうち、以下のエリアを対象としています。

- 国道134号

景観デザインの考え方は、湘南なぎさプラン対象地域につながる範囲についても準用することが望ましいでしょう。

- 海浜(国道134号より南側の部分)

- 国道134号沿道の公共空間

- また、今後は湘南なぎさプラン対象地域全域に、湘南にふさわしい景観の形成を波及させていく必要があるため、民間指導にあたっても活用していきます。

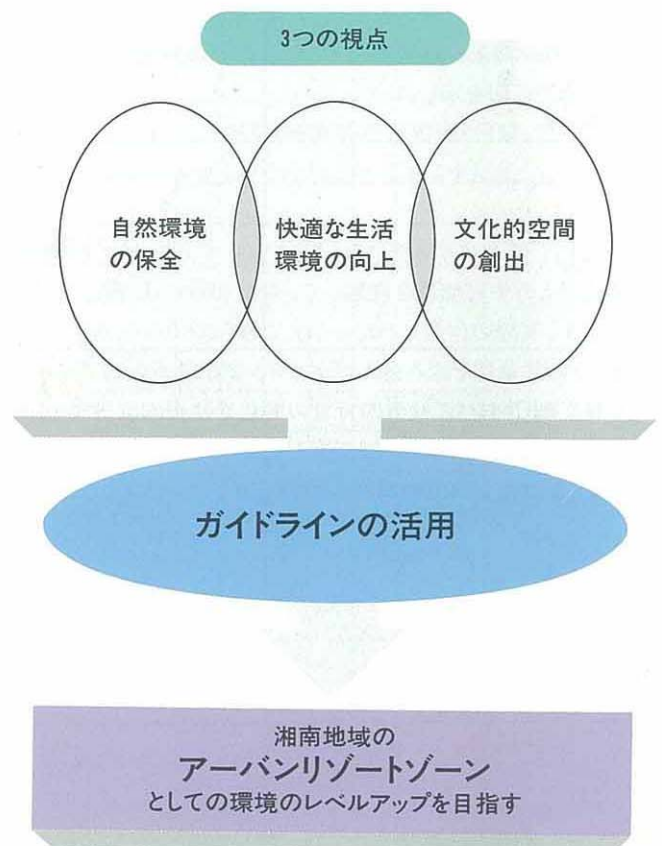
実際のデザイン作業にあたっては本ガイドラインをベースに作業を進めますが、主要な要素については、専門家のアドバイスが受けられる「湘南なぎさデザインアドバイザー制度」や、関連する他の事業との調整を図る「事業調整」制度などを必要に応じて活用し作業を進めていきます。

2. ガイドラインの目的

本ガイドラインは、湘南なぎさプランの基本理念である「自然環境の保全」「快適な生活環境の向上」「文化的空間の創出」の3つの視点に立ち、湘南なぎさプラン対象地域の「アーバンリゾートゾーン」としての環境のレベルアップを図るため、国道134号とその沿道および海浜の景観づくりをいかに行うかを示唆することを目的としています。

この基本的視点に立って公共公益事業を行う際には、これまでの法制度や技術基準に加え、実際の設計・デザイン作業を行う立場の心構えや、企画者・管理者の立場としての留意事項など、さまざまな「デザインの配慮」が必要になってきます。

この「デザインの配慮」の点で、湘南なぎさプラン対象地域全体で総合的に事業を実践していくための手掛かりとして、本ガイドラインを利用してください。



3. ガイドラインの使い方

このガイドラインは、「デザインの基本的考え方」、湘南なぎさプラン対象地域の「景観形成の6つのキーワード」、「ゾーニングと各ゾーンの特徴」、技術基準を示した「指針」の4つの項目から構成されています。

使用について——

- ・本来は、全てのページを読んでおくことが望ましいのですが、担当の事業に関連深い部分から読み進め最終的に全体を把握する、という使い方も可能です。
- ・「デザインの基本的考え方」「景観形成の6つのキーワード」は、地域の全ての事業に共通する項目であり、主として事業の企画・予算要求・発注などの作業に対して事前に心得ておく項目です。
- ・「ゾーニングと各ゾーンの特徴」では、環境特性や将来計画などの条件を踏まえ、地域内のデザイン作業の目安となるゾーンの性格や方針を示しています。
- ・「指針」は、設計・配置計画作業を実践していく上で参考となる項目です。担当する事業で必要な項目を参考に作業を進めてください。
- ・「指針」で紹介する事例はあくまでも参考であり、デザインや機能の考え方や可能性を理解していただくために掲載しているものです。実際の作業にあたっては、これらにとらわれ過ぎず、場所ごとの諸条件を読み込んでデザインすることが大切です。
- ・また、ガイドラインは、社会的背景の変化や技術的改善などに対応して、内容の見直しを行う必要があり、リーディング事業の節目などで改訂していく必要があります。

企画・予算要求・発注などの作業の事前に心得ておく項目

1. デザインの基本的考え方

- ・ 公共施設デザインの役割
- ・ 計画・設計にあたっての5つの心構え
- ・ 企画・進行・管理にあたっての5つの留意事項

全ての事業を行う際の「基本的原則」と「事業者としてのスタンス」を把握する。

2. 景観形成の6つのキーワード

湘南なぎさプラン対象地域において、デザインの決め手となる「6つのキーワード」を把握する。

設計・配置計画作業を実践していく上で参考となる項目

3. ゾーニングと各ゾーンの特徴

デザイン作業の目安となるゾーンの性格や方針を読みとる。

4. 指針

- 4-1 国道134号の景観デザインの考え方
- 4-2 海浜部の景観デザインの考え方
- 4-3 両方に関わる景観デザインの考え方

個々の要素を設計する際に必要な、設計条件・配置条件・留意事項などを把握する。

本ガイドラインは以下の項目によって構成されています。一つの事業に対して複数の項目が該当する場合もあるので、下表を参考に関連する項目についても読みとっておくことが望まれます。

参照してほしい デザイン要素	あなたが 担当する事業	頁	歩道舗装材	車道照明・信号	歩道照明	車止め(歩道内)	車止め(海浜へのアプローチ)	防護柵	転落防止柵	電話ボックス	バスシェルター	歩道橋	橋梁	突堤・護岸・離岸堤	導流堤・河川護岸	人工海浜	ゴミ箱	管理施設(ゲート・スピーカー)	海水浴場関連施設	植栽			砂防柵	防風ネット	サイン	建築物(一般)	建築物(利便施設)	駐車場
			12	13	14	15	15	16	16	17	17	18	18	20	21	21	22	22	23	高木	低木	花	25	28	29	32	35	36
国道134号	国道134号		●	●	●	●	●	●	○	○	●	●								●	●	●			●			
	交差点		●	●	●	●		●												○	○	○						
	地下道		○		○	○															○	○			●			
	サイクリングロード		○		○		○		○			○									○	○			●			
	アプローチ		○				●														○	○			●			
	沿道公共建築物		○			○														○	○	○			○	●	●	○
海岸	突堤													●														
	護岸		○						○					●											○			
	導流堤														●													
	人工海浜															●	○	○										○
	海水浴場																○	○	●									○
公園	植栽																			○	○	○						
	建築物																									●	●	
	駐車場			○		○												○		○	○	○			○			●
	修景・利便施設		○		○	○	○			○							○	○							●			
港湾	護岸など													●													●	○
	建築物																									●	○	
	駐車場			○		○												○			○	○			○			●
	植栽																			○	○	○						
	修景・利便施設		○		○	○	○			○	○						○	○							○			
漁港	護岸など													●													○	○
	建築物																	○								○	○	
	駐車場			○		○												○			○	○			○			●
	修景・利便施設				○																							
砂防林	ネット・砂防柵																						●	●	○			
	植栽																			●	●	●						
	林内通路		○		○		○	○									○	○	○						○		○	
民間の誘導・協力			○							○	○						○	○	○	○	○	○			○	○	○	○

●…必ず参照すべきデザイン指針
○…参照すべきデザイン指針

1 デザインの基本的考え方

1-1

公共施設デザインの役割

公共公益事業は、その性格上一般の目にふれることが多く、大規模なものが多いのが特徴です。そのため、公共施設のデザインを通して、地域の在り方やイメージを伝えることができ、地域の民間活動に刺激を与え全体のデザインの質の向上を促すといった役割を担っています。

中でも、湘南なぎさプラン対象地域の骨格的空間となる国道134号や海浜部の公共空間は、そのデザインによって湘南なぎさプラン実現の先導的役割を担う性格のものであり、その実践には以下に示すさまざまな「デザインの配慮」が必要です。

1-2

行政の事業担当者は、より良い「物」をつくるデザインセンスと、より良い「物」をつくるための作業環境を整えるための配慮を持ち合わせている必要があります。

ここでは前者を「計画・設計にあたっての5つの心構え」として、後者を「企画・進行・管理にあたっての5つの留意事項」として以下にまとめています。



事業担当者の5つの心構えと5つの留意事項

計画・設計にあたっての5つの心構え

①機能の必要性から考える。

地域における県民のさまざまな活動の利便性・安全性などを満足させることは、公共施設の基本的役割であり、施設デザインもそのための機能的必要性から考えるべきである。そのためには、公共施設に第一に要求される機能と、その性能の水準からデザインを発想する必要がある。

②関係性を考慮したデザインとする。

地域の街並みや景観は、個々の施設が相互に関係してつくりだされている。公共施設のデザインにあたっては、個別の施設だけに着目することは好ましくない。地域的な広がりから景観を捉え、自然環境の中で、隣接する公共施設や民間施設、将来計画との間での機能的相互関係や補完関係、空間的連続性や変化、一体感、形態・素材・色彩などとの調和などについても考慮し、地域環境と一緒に考えることが必要である。

③生活感覚を尊重し、魅力ある地域文化を育てる。

公共施設のデザインは、地域の環境の向上や、人と人とのふれあいの促進など県民の生活環境の骨格をつくるものであり、単なる美観上の表面的な化粧になったり、過度なコストをかけて他との意匠的差別化を目指すことになってはいけなない。したがって、地元住民の愛着、地域の文化的・歴史的シンボル、生活感覚などを尊重し、地域文化を育成する役割を持つ必要がある。

④地域の質を向上させるデザインとする。

地域の背後にある自然条件、歴史的背景、生活の営み、社会システムなどが一体となると、地域の景観はそこにしかない個性を表現する。景観デザインとは、地域の特性を踏まえ、「個性ある自然環境の継承」「多彩な歴史環境・人的環境の発掘と活用」「新しい時代への意欲」を通じて、景観の質の向上を図っていくことである。そのために地域の文脈を十分に読みとり、地域にふさわしいデザインキャブラリーを用いることが大切である。

⑤地域のストックとなるデザインとする。

デザインされた公共施設は、時間の経過と共に簡単に老朽化するものであってはならない。きめ細かい配慮によって、その場所にふさわしい維持・管理手法を考慮して、時間を経るにしたがって風格を増すような、後世のストックとなる存在にしていけることが必要である。

企画・進行・管理にあたっての5つの留意事項

①コンサルタント・設計者を活用する。

公共施設を単なる構造物としてではなく、景観形成の要素として計画・設計できるコンサルタント・設計者を活用することが望まれる。従来の構造や安全性を中心とする設計に景観設計コンサルタントを加え、両者の相互調整を図ることが必要である。

②ゆとりある設計期間を設定する。

景観形成に考慮した公共施設の計画・設計には、十分な基礎調査、関係各機関との調整、周辺計画との調整、細部のデザインや素材の吟味、維持・管理の仕組みの検討などにかかる時間を確保することが重要である。

③関係機関との連携・調整を図る。

事業の計画・推進にあたっては、関連する機関(国・3市1町・管理者・周辺施設・その他の事業者)との連携を強め、無駄の少ないスムーズな事業を行うための意志の疎通を図ることが必要である。

④一貫した設計理念とフィードバックシステムを持つ。

公共施設(特に土木施設)は、計画から完成まで長い年月をかけて段階的に整備されることが多いため、計画段階での方針を守り続けることはなかなか困難である。そこで当初の設計方針を一貫して維持する仕組みを持つことが望ましい。また、完成した事業でも時間を経るにしたがって問題点が発見されることが多くある。従前の設計の踏襲は避け、十分な検証を行って新たな事業に反映させていくことが必要である。

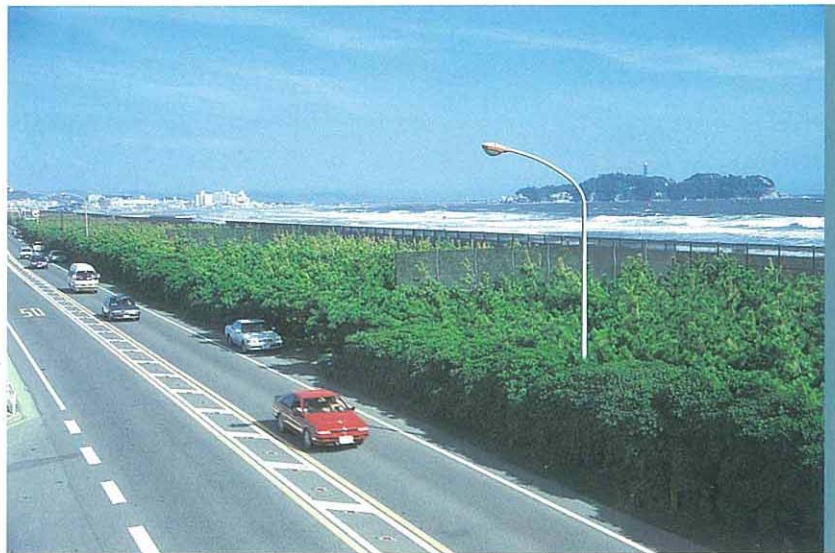
⑤デザインの価値を組み込んだ予算を確保する。

良好な景観を実現するためには、従来の標準仕様に比べれば質の高い仕様が求められる。事業化にあたっては、デザインの要素を加味した予算措置が図れるように、周囲の理解を求めることが必要である。

2 湘南地域の景観形成の6つのキーワード

湘南なぎさプラン対象地域の景観形成の基本は、私たちの共有財産である湘南の自然が作り出す美しい景観を守り、育て、再生していくことにあります。「アーバンリゾートゾーン湘南」の環境のレベルアップを

行うために、景観デザインを行う際の「6つのキーワード」をよく認識しておく必要があります。この6つのキーワードをもとに、個々の計画・設計・デザイン作業を行い、地域の特性を生かしていくことが大切です。



「自然」

水辺

湘南なぎさプラン対象地域は、自然の砂浜が約19kmにわたって続く日本でも有数の自然海岸の1つです。この自然を守るために、ゴミのない美しい砂浜を維持すると共に、海浜部の自然景観を守るための工夫が必要です。

緑

砂浜沿いには、厳しい海岸気候に耐え長い年月と膨大な人手によって飛砂防備保安林が育ってきました。市街地の中にも樹齢を経た松林や、住み手が丹精を込めた生け垣・庭木が街に潤いをつくりだしています。豊かな自然の緑を保全しながら、さらに美しい緑をつくりだす必要があります。

「開放感」

相模湾の海岸線194kmを一望する180度のパノラマ、雲、夕陽、波、富士山、大島…そして海と空の間に広がる水平線の雄大な眺めなど、明るい海と空に向かって広がる開放感が湘南海岸の特徴です。こうした大きな自然との一体感を持った開放的な地域イメージを維持していくには、空と海を身近に感じさせる景観づくりが大切です。



「眺望」

湘南の景観は、パノラマを彩る江の島、片瀬山、高麗山、伊豆箱根の山々、富士山、大島などによって印象づけられています。これらランドマーク（目印）への眺望を確保することは、湘南らしさを感じさせる手段の一つです。

街並みや通りの景観の中で、これら遠景のランドマークを引き立たせ、その眺めを遮らないように、建物のスカイライン、看板、広告、歩道橋、照明ポール、各種公共サインなどの近景を整えていく必要があります。また、街や通りから海への視線を通すことも海辺の街の眺望をさらに豊かにします。そういう場所を見つけて工夫します。





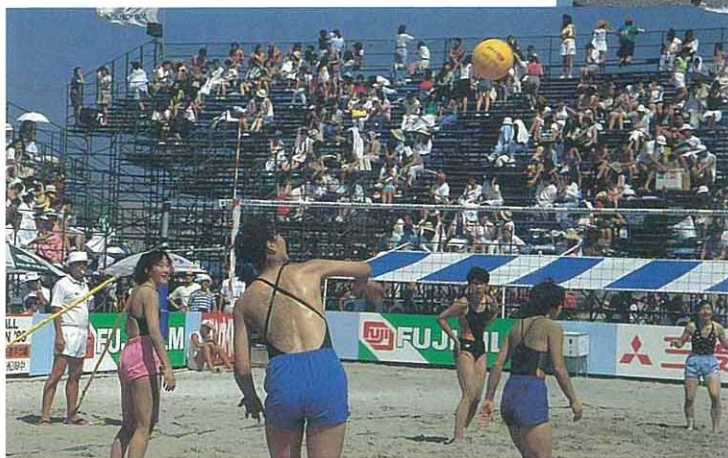
「軽やかさ」

温暖な気候と豊かな自然環境を持つ湘南は、開放的な風土と共に、保養地、別荘地、観光地、マリンスポーツなど、時代をリードする場所でした。そこでは常に先進性を持った都市活動が展開されてきました。それは住民や来訪者のスマートなライフスタイルにあらわれ、さらには、商業建築や街並みにもあらわれています。

こうした伝統を踏まえ、街並みの形態や色彩は、明るく軽快で、スマートなものとしします。

「楽しさ」

湘南なぎさプラン対象地域は、年間4,000万人もの人々が訪れる海浜リゾートです。レクリエーション活動は、夏型(海水浴やマリンスポーツ)から通年型のものに移行しており、レジャーだけではなく文化活動などの創造性のある活動へと広がりも見せています。多彩な活動の舞台となる海浜の都市的リゾートの祝祭的雰囲気をつくりだすために、より魅力的できらびやかな楽しい景観を演出する必要があります。



「物語性」

湘南なぎさプラン対象地域は、歴史的・文化的資源に恵まれ、それらによってそれぞれの場所ごとの個性をつくりだしています。そして現在は、夏だけの海浜リゾートではなく四季を通じてのアーバンリゾートに成長しつつあります。

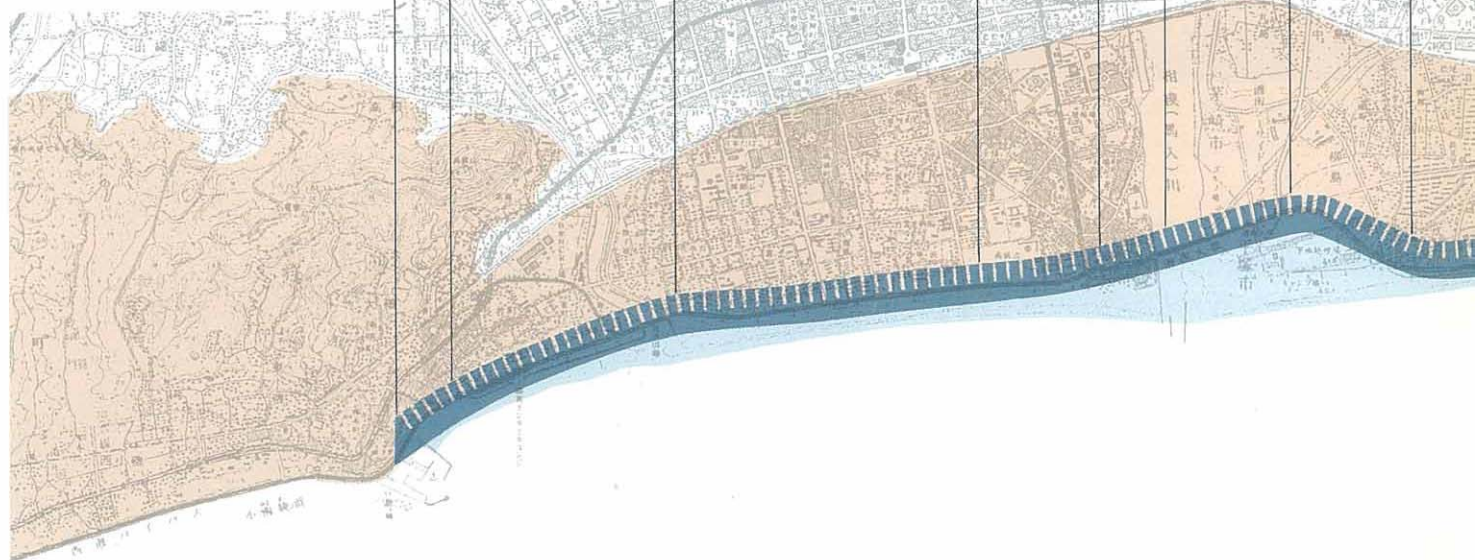
場所ごとの個性を生かす景観づくりの工夫を行い、地域景観の連続的変化を楽しめる物語性をつくる必要があります。

3 国道134号を中心とした湘南なぎさプラン対象地域のゾーニングと各ゾーンの特徴

- 都市景観ゾーン
- 自然景観ゾーン
- 公園景観ゾーン

国道134号とその沿道および海浜

- 国道134号
- 国道134号沿道
- 海浜部
- 湘南なぎさプラン対象地域



国道134号とその沿道および海浜の景観は、地域全体が大きな視点でデザインされる必要があります。さらに、商業施設の多い場所、飛砂防備保安林、公園、住宅地などの多様な環境特性や将来の計画など、細かな場所ごとの条件に合った景観形成であることも必要です。

ここでは、景観形成の目安となるゾーンの性格や方針を定めました。

この景観デザインの考え方は、湘南なぎさプラン対象地域につながる範囲についても準用することが望ましいでしょう。

今後は、国道134号とその沿道および海浜での景観形成の成果を、湘南なぎさプラン対象地域全体で生かしていきたいと考えています。

都市機能と豊かな自然と文化の融合する

都市景観ゾーン

湘南なぎさプランの「文化・リゾートの拠点」であり、優れた自然環境と都市機能と地域の個性的な文化の3つを融合させる役割を担います。

1. 片瀬東浜ゾーン

- ホテルやリゾートマンション、マリンスポーツサービス施設が建ち並び、賑わいのある都市的な空間をつくっている。
- 海浜と都市の調和のとれた景観を創出していく。

2. 片瀬西浜ゾーン・3. 鵠沼ゾーン

- 県立湘南海岸公園の緑とオープンスペース、国道134号沿いの商業施設が、緑豊かな海辺のリゾートの景観をつくっている。
- 砂浜、公園、道路、沿道施設が一体となった、ゆったり広々とした緑豊かな景観を創出していく。

8. 茅ヶ崎中海岸ゾーン・9. 茅ヶ崎海水浴場ゾーン

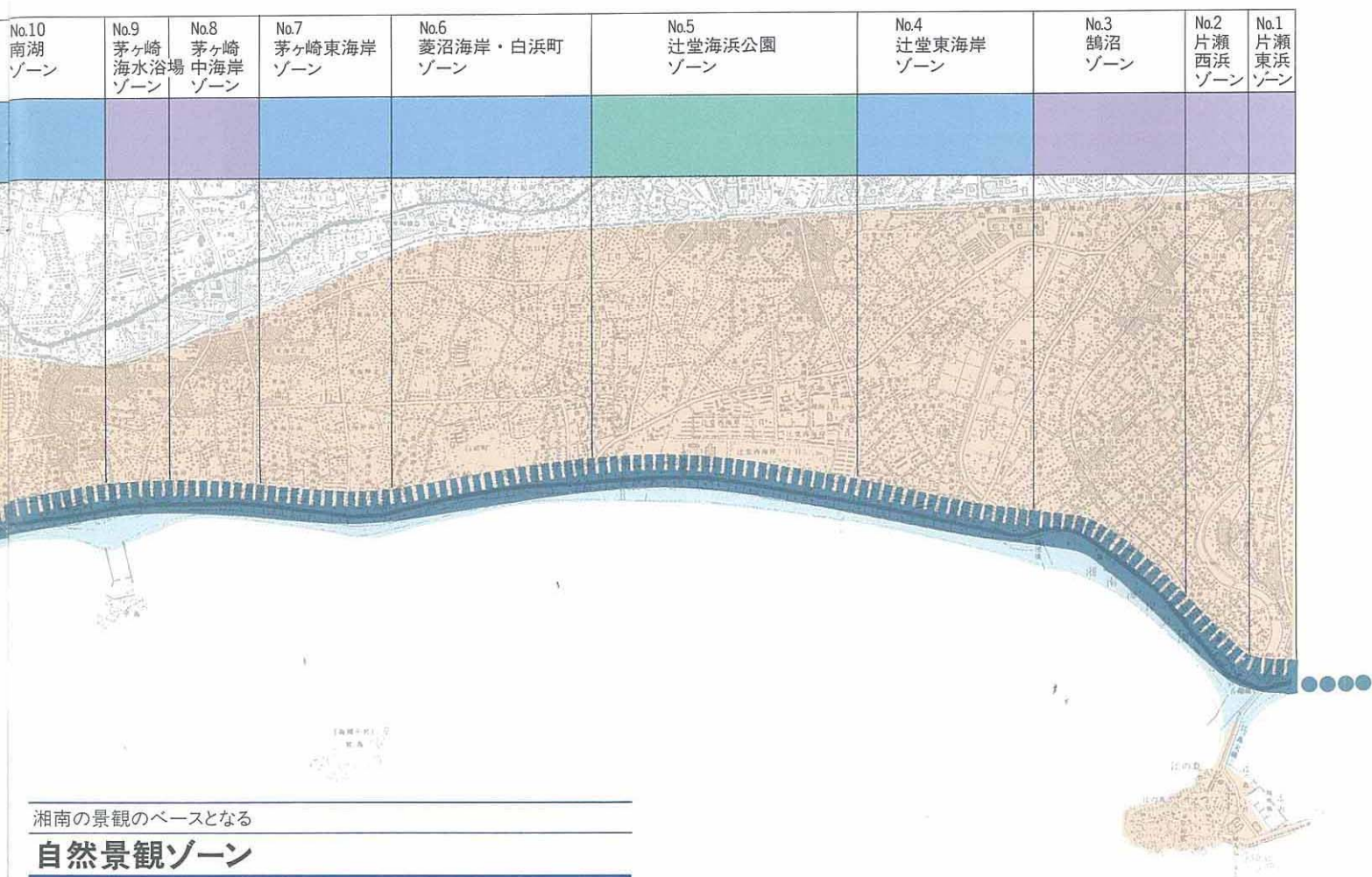
- 漁業や祭りなどの歴史と、海洋スポーツや商業などの新しい活動が混在した景観である。
- 特性を踏まえながら緑豊かな海辺のリゾートの景観を創出していく。

13. 須賀大浜ゾーン

- 住宅、マンション、漁業、商業などさまざまな建物が混在している。
- 混在した土地利用の中に、海辺の街並みとして調和のとれた景観を創出していく。

17. 大磯下町ゾーン

- 駅や街と海を結ぶ道が伸びている。
- コミュニティ道路の整備を行い、大磯の昔からの面影を残した街並み景観を創出していく。



湘南の景観のベースとなる

自然景観ゾーン

湘南の景観のベースとなる「空・緑・海を感じる空間」であり、自然性・開放性などを楽しめる場としての役割を担います。

4. 辻堂東海岸ゾーン

- 飛砂防備保安林の緑と建物が混在する景観である。
- 建物と緑の調和のとれた景観を創出していく。

6. 菱沼海岸・白浜町ゾーン

- 高層建築がランドマークとなり、ゴルフ場のグリーンが見え隠れする景観である。
- 県立辻堂海浜公園と連続性のある、緑多い景観を創出していく。

7. 茅ヶ崎東海岸ゾーン

- 緑の中のランドマークとなる高層建築と落ち着いた住宅地の雰囲気が印象的な景観である。
- 建物と緑の調和のとれた景観を創出していく。

10. 南湖ゾーン

- 飛砂防備保安林の緑豊かな景観である。
- 緑の保全により、より豊かな自然景観を創出していく。

15. 袖ヶ浜・虹ヶ浜ゾーン

- 飛砂防備保安林の緑豊かな景観である。
- 緑の保全や海浜緑地の再整備により、より豊かな自然景観を創出していく。

16. 花水・北浜海岸ゾーン

- 湘南と西湘の境である高麗山をまじかに望み、良好な松林、広い砂浜、河口の海への広がりがある印象的な景観である。
- 砂浜、河口、道路、沿道施設が一体となった、ゆったりとした緑豊かな景観を創出していく。

憩いとふれあいを楽しむ

公園景観ゾーン

湘南なぎさプランの「特徴的な公園や自然景観の空間」であり、スポーツ、自然観察などの活動や憩いの場としての役割を担います。

5. 辻堂海浜公園ゾーン

- 公園と飛砂防備保安林の緑豊かな景観である。
- 公園と海浜の2つのオープンスペースを一体化し、海と緑とスポーツの場として広がりがある緑の景観を創出していく。

11. 柳島ゾーン

- キャンプ場の豊かな緑、松林に点在する建物が印象的な景観である。
- 下水処理場への公園機能の導入により、キャンプ場などレクリエーションの場にふさわしい豊かな緑の景観を創出していく。

12. 相模川河口ゾーン

- 河口の雄大なパノラマ、ゴルフ場のグリーンへの眺めが印象的な景観である。
- 雄大な河口部の自然景観を保全しながら柳島ゾーンの公園機能と一体的な整備を行い、自然観察の場や憩いの場を創出していく。

14. 高浜台ゾーン

- 飛砂防備保安林の緑豊かな景観である。
- 平塚なぎさプロムナードに導かれる市立湘南海岸公園の再整備や海岸の整備などにより、開放的な景観を創出していく。



この指針は、設計や配置計画を実践していく上で特に参考とすべき事項をまとめたもので、「4-1」では国道134号に関わるものを、「4-2」では国道134号より南側の海浜部に関わるものを、「4-3」では両方に関わるものを対象としています。指針の内容は次の4つからなり、それぞれ以下の点に注意して活用してください。

デザインテーマ：デザイン作業の上で最も大切なデザインの考え方、方針を示しています。

デザインの留意事項：形態・素材・色彩などを検討する場合の留意点を示しています。

備考：配置、メンテナンス手法、その他諸条件を示しています。

参考事例：類似の条件で参考となるべき事例を紹介しています。ただし、あくまでも参考事例であり、これらのデザインにとらわれ過ぎず、場所ごとの諸条件を読み込んで設計・配置計画を実践してください。

4-1

国道134号の景観の考え方

国道134号は、湘南なぎさプランの“中心軸”として、湘南らしさを感じさせるシンボルロードとして位置づけることができます。湘南なぎさプラン対象地域の景観づくりの先導的役割を果たすもので、徒歩、自転車、自動

車など、いかなる交通手段においても、湘南の持つ豊かな空間特性を味わうことのできる遊歩道として整えていく必要があります。

①道路の開放的景観やランドマークへの眺望を生かす。

国道134号沿道は、飛砂防備保安林が多く建物も中低層が主体である。また、道路敷内も無電柱化されているため、明るい開放的な道路景観となっている。そのため道路からも、富士山、高麗山、江の島、片瀬山などへ視界の開ける、眺望に富んだ道路空間が形成されている。こうした特性を生かすため、以下の点に留意する。

- 開放感を高めるため、高さのある構造物は立面的に細くスマートなものとし、目立たない形態とする。
- 高さのある構造物は背景に溶け込む明るく開放的な色彩とする。
- 海やランドマークへの眺望を確保する施設配置を工夫する。
- ランドマークを生かせる近景としてデザインする。

②軽やかさ・楽しさを演出する。

湘南の開放的な雰囲気や軽快なスマートさ、海浜リゾートの楽しさをさりげなく印象づけるため、以下の点に留意する。

- 軽快なリズムを感じられる形態・施設配置とする。
- バナー※や草花などの演出により賑わいや季節感

を感じさせる。

- 歩道照明により印象的な夜景をつくる。
- 場所ごとの歴史や活動などをイメージさせるデザインとする。

※) バナー：照明ポールなどに取り付ける旗のこと。

③耐久性に富んだ素材・形態を用いる。

潮、風、飛砂、強い日差しなど厳しい海岸気候に耐え、長い年月にわたって美しい景観を維持するよう、以下の点に留意する。

- 自然素材を使用し簡素な仕上げとする。
- 流行りすたりのないシンプルなデザインとする。
- 潮、飛砂、日光などに対して充分耐久力のある素

材・表面仕上げとする。

- 耐久力に乏しい極端な薄材・細材を使用するデザインは避ける。
- 美しい景観を維持するため小まめな維持管理を心がける。

① 歩道舗装材

デザインテーマ

- 砂浜を感じさせる「地」とする。
- キーワード
〔自然〕

デザインの留意事項

- 歩行感が良く、ハイヒールでも楽に歩け、自転車の走行にも快適な素材とする。
- 砂浜を意識させる自然素材とする。砂に近い細かな素材感を出す。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

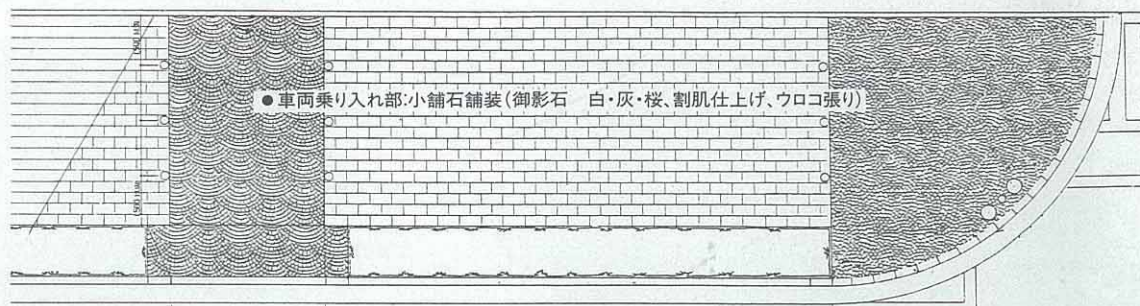
備考

- 常時入手が可能なものが望ましい。
- 歩道と公園入口、広場などは、舗装を統一するなど連続性を強調する工夫をする。
- 歩行者交通、沿道施設への車の出入りの多い都市景観ゾーンの車両乗り入れ部は、イメージハンブ※として舗装を変えるなど注意を促すための工夫をする。

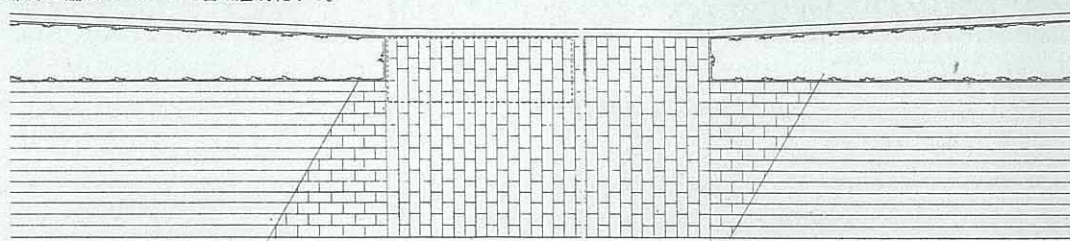
※) イメージハンブ:主に、車両に注意を促すため意識的に舗装材を変えた部分。

都市景観ゾーンでの参考事例

- 陸側(切り下げ部) ● 一般部:整形自然石舗装(御影石 白、バーナー仕上げ、ウマ目地)



- 海側(バス停部)
- バス停車帯部は舗石のパターンを替え差別化する。



整形自然石舗装・小舗石舗装

- 片瀬西浜・鶴沼ゾーンで提案

都市景観ゾーンについては、白砂のイメージの御影石白系を使用し、バーナー仕上げにより都会的な雰囲気とする。歩道幅員が広い歩道進行

方向を強調するような目地割りとする。車両乗り入れ部や歩道切り下げ部は、自動車と歩行者動線が交錯する場所であり、双方に注意を呼び掛ける必要があるため小舗石舗装とする。小舗石舗装は東浜に準じ連続性を強調させる。

公園景観ゾーン・自然景観ゾーンでの参考事例



脱色アスファルト舗装

- 県立辻堂海浜公園 藤沢市

骨材の持つ自然な色合いを生かした脱色アスファルト舗装により、明るい砂浜のイメージを表現できる。施工性や耐久性の高さも通常のアスファルトと同一であり扱いやすい。中央の黒い部分が通常のアスファルト舗装である。



ホットロールド アスファルト舗装

- 海岸通り 横浜市

通常アスファルト舗装の表層に砕石をチップングしたもので、白系の砕石を高密度でチップングすれば比較的明るいイメージを表現できる。通常のアスファルト舗装と異なる特殊な舗装であるが、比較的ポピュラーになりつつある。

② 車道照明・信号・トラフィックカウンター

デザインテーマ

- 風になびくようなイメージ。
- 存在を感じさせず、開放感を高める。
- 群としての軽快なリズム感。
- キーワード
[自然]
[開放感]
[軽やかさ]

デザインの留意事項

- 緩い曲線を基調として、空と道路空間の緩やかな境界をつくるようデザインする。
- 群として遠くから眺められる時に、立面として目立たぬよう薄くデザインする。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 歩車道境界の植栽帯内の設置を原則とする。
- 電気配線は地下埋設とする。
- 分電盤は植栽の中に目立たぬよう設置する。
- 照明と信号・トラフィックカウンターが乱立しないよう配慮する。
- 光源は、寒色系の発色白～青系が望ましい。
- 構造その他は「道路照明施設設置基準」および「道路標識設置基準」に基づいて決定する。



群として軽快なリズムをつくっている東浜の照明



信号機の持ち出しアームも照明ポールに準じている

車道照明

● 片瀬東浜・鵜沼で実施

照明器具は、単体ではなく群として、近距離ではなく遠くから眺められることが多い。このため、特に側面処理に着目したデザインとしている。持ち出しアームを緩い曲線で構成することにより、空と道路空間の緩やかな境界をつくっている。さらに、断面を厚さの薄いものとし、存在感をなくして軽快性の高いものとしている。色彩は港湾施設のイメージの白に、若干青を加えたものを採用している。また、耐潮性を高めるため、普通鋼のポール(鋼管ポール)に、亜鉛溶解メッキ・エポキシ系コート、塩化ゴム系コート、普通塗装を施したものを使用し、細かな部品の多い灯具は全てステンレスを使用している。

伏図



立面図(側面)

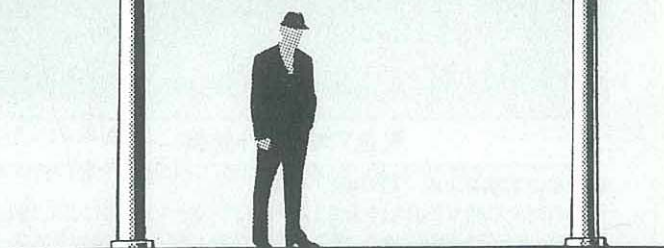


立面図(正面)



風になびくようなイメージ。空と道路空間の緩やかな境界をつくる。

落書きなどのイタズラに対応するため、(簡単に再塗装できる)ポール脚部は塗装の見切りとして中間部に見切りを入れる。



道路照明(車道)

全線に適用

③ 歩道照明

- 都市的リゾートの明るく洗練された華やかさ。
- 場所ごとの変化、ゾーンの個性を伝える道具。
- 群としての軽快なリズム感と透明感のある軽さ。
- キーワード
[楽しさ]
[軽やかさ]
[物語性]

- 都市的リゾートに対応した造形イメージとする。
 - ・シャープで透明感のある造形とする。
 - ・太陽の光を効果的に演出するための工夫をする(例 メタリックな素材)。
 - ・夜間の光の演出により、都会性を強調する。
- 各ゾーンの特徴を考慮したデザイン・色彩を検討する。色彩は、明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

- 歩行者の多い場所に設置する。
- 歩車道境界の植栽帯内の設置を原則とする。広幅員歩道の場合は車道の開放性を高めるため歩道内へセットバックし設置する。
- 大規模なイベント開催時には、バナー[※]などの取付により物語性・季節感を演出する。
- 電気配線は地下埋設とする。
- 分電盤は植栽の中に目立たぬよう設置する。
- 光源は、寒色系の発色白青系が望ましい。
- 構造その他は「道路照明施設設置基準」に基づいて決定する。

※) バナー：照明ポールなどに取り付ける旗のこと。



●川崎駅前広場 川崎市

非常にシンプルでシャープなデザインである。ステンレス鏡面仕上げにより、一層シャープな印象を高めている。灯具の形状は、車道照明と同一である。下部は円筒形とし、安全性を高めている。機器類はここに収納されている。



●MM21地区 横浜市

灯具は波をモチーフとしてデザインされている。灯具が電球を覆い、グレア(まぶしさ)を防いでいる。



●MM21地区 横浜市

シンプルなデザインである。ポールを2本に分割することにより、スマートでシャープな印象を高めている。灯具は光を反射し、きらびやかさを演出している。

④ 車止め(歩道内設置型)

デザインテーマ

- 波や風がつくりだす自然なかたち。
- キーワード
〔自然〕

デザインの留意事項

- 波や風などを感じさせるデザインとする。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
例：ライトグレー(白系統の色彩で構成される歩道の中では目立ち、かつ明るい色彩)
- 安全性を考慮した形状とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 車止めの間隔は1.5m以内とする。
- 車のバンパーにあたりボディをキズつけない高さであり、歩行者にも視認が容易な高さとする。
- 視線誘導標は、支柱埋込みタイプとする。色彩は白とする。「視線誘導標設置基準」に基づく。

都市景観ゾーンでの参考事例



●福岡港 福岡市

港の船留めを模したデザインであるが、柔らかな曲線が波をイメージさせる。小さな視線誘導標により、アクセントをつけている。



●開港広場 横浜市

港の船留めを利用した車止め。具体的に海や港をイメージさせることができる。実際の設置にあたっては視線誘導標などの安全対策を施す必要がある。



●江の島臨港道路 藤沢市

自然石の使用により、素朴な海を感じさせるデザインである。安全性を高めるため、角部や上面は、曲線を基調にしたデザインとしたい。

④ 車止め(海浜部へのアプローチ設置型)

デザインテーマ

- 雑割石による自然との一体化。素朴な雰囲気。
- キーワード
〔自然〕

デザインの留意事項

- 現在の自然石素材の車止めに今後も使用する。
 - ・基本的な素材として、白系御影石を使用する。
 - ・仕上げは割肌仕上げとする。
- 夜間の視認性を高める。
 - ・車止め本体には視線誘導標をつける。
 - ・車両進入防止用のチェーンは反射テープをつける。

備考

- 車のバンパーにあたりボディをキズつけない高さであり、歩行者にも視認が容易な高さとする。
- 固定式とする。
- 視線誘導標は、支柱埋込みタイプとする。色彩は白とする。「視線誘導標設置基準」に基づく。

公園景観ゾーン・自然景観ゾーンでの参考事例



●飛砂防備保安林内 茅ヶ崎市

車両進入を防ぐためにチェーンを設置しているが、夜間の安全性を確保するために、反射テープなどにより視認性を高める必要がある。車止め本体にも反射板をデザインのポイントとして埋め込む必要がある。



●奈良俣ダム 群馬県

左の事例と同様の自然石利用の車止め。自然石の形に手を加えることなくそのまま利用している。

⑤ 防護柵

デザインテーマ

- 立面を持たず、面として道路をふちどらない。
- 道路外へ眺望が抜ける。
- キーワード
[開放感]
[眺望]
[軽やかさ]

デザインの留意事項

- 道路外への眺望(遠景)を妨げず、近景として眺望を生かせるものとする。原則としてガードケーブル(既製品)を使用する。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 視線誘導標識は、後付けの持ち出しアーム式としない。支柱に埋め込むか反射テープを使用する。赤は使用しない。
- 構造・配置は、「防護柵設置要綱」に基づいて決定する。

全線共通の参考事例



ガードケーブル

● 国道134号七里ヶ浜 鎌倉市
ガードケーブルは、道路外への眺望を確保し、開放感のある道路景観をつくることが可能である。



視線誘導標識(反射板)

● 視線誘導標識は、景観的に非常に大きく影響する要素である。このため、必要最小限の大きさとし、白や黄色など明るい海辺の環境に調和する色彩とする。また、後付けの持ち出しアーム式とせず、反射テープや反射板の埋め込み式を採用する。



⑥ 転落防止柵

デザインテーマ

- 立面を持たず、面として道路をふちどらない。
- 道路外へ眺望が抜ける。
- キーワード
[開放感]
[眺望]

デザインの留意事項

- 道路外への眺望(遠景)を妨げず、近景として眺望を生かせるものとする。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 縦格子を原則とする(歩行者が昇りにくいよう)。
- 高さは1.1m以上とする。
- 花火など多数の人がもたれかかることを想定した強度とする。
- 構造・配置は、「防護柵設置要綱」に基づいて決定する。

全線共通の参考事例



● 平潟湾プロムナード 横浜市
緩やかな曲線で構成された護岸の転落防止柵。海への眺望を生かすため、格子の本数を減らしている。



● 三笠公園 横須賀市
風になびくような造形イメージの転落防止柵。色彩は、ステンレスの素地色でシャープな都会的な印象を与えており、港の雰囲気に調和している。縦格子の径を細く、間隔を広くすることにより、海への視線の抜けを良くすることが可能である。

⑦ 電話ボックス

デザインテーマ

- 軽快なリズム感。
- 都市的リゾートの明るく洗練された華やかさ。
- ゾーンの個性を伝える道具。
- キーワード
〔軽やかさ〕
〔楽しさ〕
〔物語性〕

デザインの留意事項

- シャープでスマートなフレームと、大きなガラスエリアを用い、先進性を感じられる軽快なデザインとする。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮（塩分）に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 利用頻度の高いバスストップや海水浴場、公園周辺などに設置する。
- ガラスなど交換が必要となるものは、NTTの規格品がそのまま使えることが望ましい。
- 電話機は、軽快で先進性のある機種とすることが望ましい。
- 「占用許可基準」に基づいた設置を行う。

都市景観ゾーンでの参考事例



● 川崎駅前広場 川崎市

都市景観ゾーンに適したデザイン。ステンレス鏡面仕上げのスマートな感触と、シャープなエッジで構成され、都会的な先進性と強い個性が感じられる。フレームは強度が許す限り細くし、ガラスエリアを大きくとることにより、透明感のある軽快なリズム感が有効に強調されている。



● 桜木町駅前広場 横浜市

サインと共通のデザインで統一感を高めている。細いシンプルな支柱の組合せと隙間の多いデザインでスマートな印象を与えている。雁行した配置により軽快なリズムをつくっている。

⑧ バスシェルター

デザインテーマ

- 軽快なリズム感。
- 都市的リゾートの明るく洗練された華やかさ。
- ゾーンの個性を伝える道具。
- キーワード
〔軽やかさ〕
〔楽しさ〕
〔物語性〕

デザインの留意事項

- シャープでスマートなフレームと、大きなガラスエリアを用い、先進性を感じられる軽快なデザインとする。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮（塩分）に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 海浜部近くに設置する場合は、飛砂や風を考慮し風除けの検討を行う。
- デザインや色彩のイメージを電話ボックスなどと統一することが望ましい。
- 「占用許可基準」に基づいた設置を行う。

都市景観ゾーンでの参考事例



● 桜木町駅前広場 横浜市

都市景観ゾーンに適したデザイン。シンプルな構成の構造体と曲線で構成された屋根により、軽快なリズム感が表現されている。また、ステンレスの素地の仕上げにより、シャープでスマートな都会的な先進性が感じられる。バス待ち用のベンチも同様の仕上げでつくられている。



● 鶴見駅東ロブロード 横浜市

都市景観ゾーンに適したデザイン。ステンレスと石板により構成された薄い柱とトラスの屋根により、左の例と同様にシャープでスマートな都会的な先進性が表現されている。



● 博多大博通り 博多区

一直線のシャープな屋根がスマートな都会性を強調し、L字型のシンプルな構造が軽やかな印象を与えている。湘南では、白系の色彩を用いて一層軽やかさを強調する必要がある。

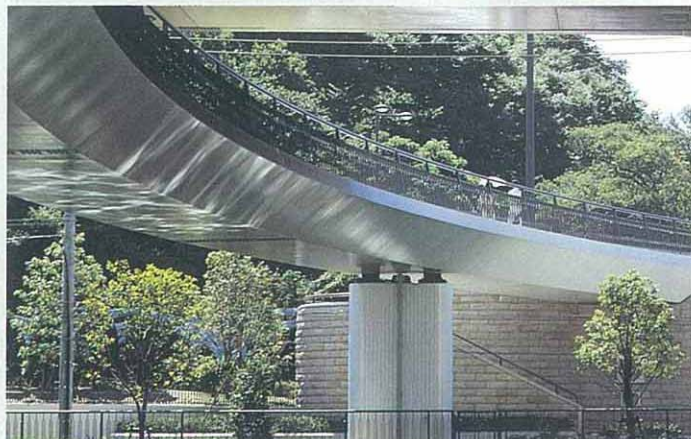
⑨ 歩道橋

デザインテーマ	● 存在を感じさせない。 ● 薄く軽快な印象を与える。 ● 街と海の結節点として、場所ごとの個性を演出する。 ● キーワード 〔開放感〕 〔軽やかさ〕 〔物語性〕	デザインの留意事項 ● 道路の開放感を低下させないよう、側面処理に着目しデザインする。 ・ 構造と欄干を一体化した下路橋タイプとし、スラブの薄い、立面として目立たないデザインとする。欄干は透視性のあるものとする。 ● 下部のデザインはシンプルなものとし、軽快な印象を演出する。 ● 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。 ● 上部の工夫により、楽しさの演出を行う。 ● 欄干などは、海辺の環境、特に潮（塩分）に対して耐久性のある素材とする。	備考 ● サインの設置により、誘導、案内、海浜部使用のルールなどを知らせる。 ● 橋脚の下部のしつらえについても工夫する。 ● 構造その他は「立体横断施設技術基準」「防護柵設置要綱」などにより決定する。
---------	--	---	---

全線共通の参考事例



●メキシコシティ
細いトラスと薄いスラブによって構成された歩道橋。色彩は薄いレモンイエローで軽快性と楽しさを演出している。



●フランス橋 横浜市
下部をカバーによりシンプルに処理している。中央部では厚さがあるが、端部を薄くし、軽快性を高めている。

⑩ 橋梁

デザインテーマ	● 場所ごとの個性を伝える道具。 ● 軽快な印象を与える。 ● 海への眺望が抜ける。 ● キーワード 〔眺望〕 〔物語性〕	デザインの留意事項 ● 軽快・先進性を感じられるデザインとする。 ● 欄干は、透視性があり海への眺望を妨げず、近景として眺望を生かせるものとする。 ● 橋梁の構造も含め、橋詰広場、欄干、親柱、舗装材など橋梁全体のデザインで、場所の性格や個性を知らせる。 ● 都市景観ゾーンなど歩行者の多い場所については、夜間照明の工夫などにより、個性を演出する。 ● 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。 ● 欄干などは、海辺の環境、特に潮（塩分）に対して耐久性のある素材とする。	備考 ● 歩道に展望スポットとして張り出し部を設けるなどの工夫を行う。 ● 構造その他は「道路橋示方書」「防護柵設置要綱」などにより決定する。
---------	--	--	--

全線共通の参考事例



●江戸川区新中川橋梁整備計画(整備イメージ)
左:辰巳新橋
地域の拠点にふさわしい、ランドマークとなるよう計画されている。軽快な印象を与え、水辺を包み込むようなイメージのデザインが検討されている。



右:大杉橋
水辺の軸と道路軸の結接点として、視認性の高い形態と大きく張り出したバルコニーにより、シンボル性と開放感の高いデザインが検討されている。

資料提供 江戸川区土木部



4-2 海浜部の景観デザインの考え方

海浜部は、海、砂浜、緑といった要素からなる湘南の自然そのものとして位置づけることができます。湘南なぎさプラン対象地域の景観づくりや種々の活動の基盤となる役割を果たすものとして、湘南の持つ豊かな自然環境を保全し再生していく必要があります。

①効率の良い施設配置により環境を保全する。

湘南の自然特性を保全すると共に、景観の混乱などを避けるため、以下の点に留意する。

- 効率の良い必要最小限の施設配置とする。
- 機能の複合化などを行い、設置や配置の数量を減らす。

②自然環境に調和した景観を創出する。

海浜部の自然に溶け込む景観をつくるため、以下の点に留意する。

- 自然と違和感の無い素材を使用する。
- 湘南の自然を意識させるシンプルな形態とする。
- 湘南の自然と調和する仕上げ・色彩とする。

③美しさを持続させるため、耐久性に富んだ素材・形態を用いる。

潮、風、飛砂、強い日差しなど厳しい海岸気候に耐え、長い年月にわたって美しい景観を維持することを考え、以下の点に留意する。

- 簡素な仕上げとする。
- 流行りすたりのないシンプルなデザインとする。
- 潮、飛砂、日光などに対して充分耐久性のある素材・表面仕上げとする。
- 必要最小限度の配置・機能により、簡素で壊れにくい形態とする。

① 突堤・護岸・離岸堤

デザインテーマ

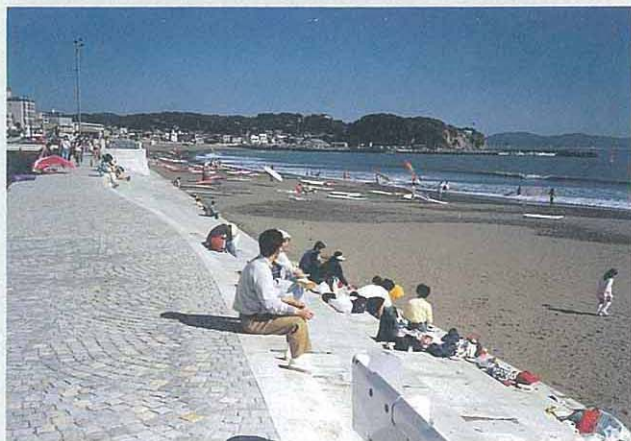
- 海辺の自然環境に溶け込み、自然と同化する。
- キーワード
〔自然〕

デザインの留意事項

- 自然景観に溶け込み、違和感の無い形態・素材仕上げとする。
- 上部を人が利用する場合については、利用を考えた形態を工夫する。
 - ・ 堤体上部を歩行者通路やサイクリングコースとして利用する場合は、海への眺望を妨げない工夫を行う。
- 護岸などはできるだけ階段状などとし、開放感・親水性を高める工夫をする。

備考

- 護岸・導流堤などの親水性を高める階段部・スロープ部は、海浜部への歩行者動線を考慮し配置を決める。



● 片瀬東浜 藤沢市

海を眺めるベンチを設置した階段状の護岸である。上部は国道134号の歩道として利用されており、砂浜をイメージした小舗石舗装となっている。海浜部の活動が盛んな場所であり、多くの人々に利用されている。



● お台場公園 港区

自然石乱積みにより自然性を高めている。護岸上部は、地被類の植栽がされており、人々の憩いの場となっている。



● サンディエゴ

ハーバー内の護岸で、上部は歩行感のよい木製デッキとしている。護岸上部は白スタック塗りで非常に親しみやすく、護岸下部は自然石積みで自然性の高いものである。



● エンバカデーロ サンディエゴ

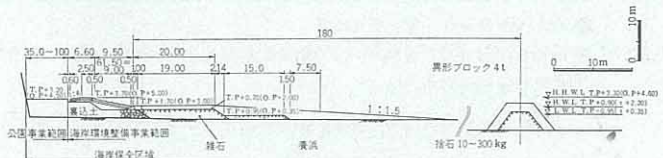
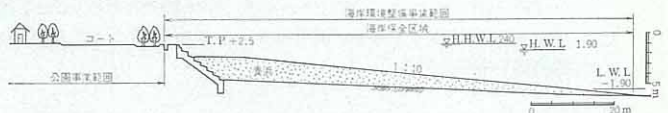
親水性の高い自然石乱積みの護岸と突堤である。突堤上部には地被類で緑化がされている。

参考事例

② 導流堤・河川護岸

デザインテーマ	●海辺の自然環境に溶け込み、自然と同化する。 ●キーワード 〔自然〕	デザインの留意事項	●自然景観に溶け込み、違和感の無い形態・素材仕上げとする。 ●上部を人が利用する場合については、利用を考えた形態を工夫する。 ・堤体上部を歩行者通路やサイクリングコースとして利用する場合は、海への眺望を妨げない工夫を行う。 ●導流堤については、できるだけ開放感・親水性を高める工夫をする。	備考	●親水性を高める階段部・スロープ部は、海浜部への歩行者動線を考慮し配置を決める。
参考事例		●サンディエゴ 自然石で表面仕上げされた護岸で、上部は歩行者通路となっている。規模が小さく、全体の石積みや石貼りが困難な場合、上部の見え掛り部分のみを石積みや石貼りなどで仕上げる手法もある。		●葛西臨海公園 江戸川区 自然石の階段状護岸と自然石の乱積み護岸を組み合わせた導流堤。また、石の隙間に砂を詰めて歩きやすくしている。	

③ 人工海浜

デザインテーマ	●海辺の自然環境に溶け込み、自然と同化する。 ●キーワード 〔自然〕	デザインの留意事項	●突堤や養浜部は自然景観に溶け込み、違和感の無い形態・素材仕上げとする。	備考	●海浜利用の方法に配慮する。
	 淡輪箱作海岸標準断面図  芦北海岸標準断面図				
参考事例	 整備の進む淡輪箱作海岸  淡輪箱作海岸環境整備事業の完成予想図  芦北海岸海岸環境整備事業施工前  芦北海岸整備事業施工後(海水浴場として甦える芦北海岸)				
	資料提供:大阪府土木部港湾局 資料提供:熊本県土木部河川課				

④ ゴミ箱

デザインテーマ

- 海辺の自然環境の中で違和感の無いもの。
- 海辺のアクセントとして明るく魅力的であること。
- キーワード
〔自然〕
〔楽しさ〕

デザインの留意事項

- 砂浜の中で目立ち、かつ違和感の無い自然素材を使用する。
- 海浜部のアクセントとする。
 - ・ サインなどと同様に明るいい色づかいとデザインにより、祝祭性を感じさせるものとする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。
 - ・ 耐久性が期待できない場合は、コストの少ないものを短いローテーションで交換し、常に美しさを保つ。

備考

- 海浜部へのアプローチや駐車場など人の集まる場所、ゴミの出やすい場所に、効率的に配置する。効率的配置により個数を減らす。
- 捨てられたゴミが見えず、また、飛ばないように工夫する。
- 場所ごとの使われ方に合った大きさを工夫する。

参考事例



照明柱や既存のパイプなどに取り付けるタイプのゴミ箱である。上部にカバーがあり、風によるゴミの飛散などを防ぐ効果がある。表面はアクリル樹脂で飛砂や潮害に対する耐久性が高い。底面を開けてゴミを出すので作業が楽である。



左と同様に、照明柱や既存のパイプなどに取り付けるタイプのゴミ箱で、砂浜の景観に調和するページュ系の色彩である。ゴミの投入口を適切な大きさとし、ゴミの飛散を防止している。樹脂性で耐久性が高く、軽量であるので取り付け支柱に基礎が不要。

⑤ 管理施設

デザインテーマ

- 明るい景観をつくる。
- ビスタライン[※]を遮らない。
- ゾーンの個性を伝える。
- キーワード
〔開放感〕
〔眺望〕
〔物語性〕

デザインの留意事項

- 海辺の開放感を妨げない。
 - ・ 色が特に強く、かつ海辺にふさわしくないものは使用しない。
 - ・ 規模は必要最小限とし、立面として周囲に圧迫感を与えないもの。
- 海辺の自然環境と調和した素材を使用する。
- 人的な破壊に対して強く、補修が容易なものとする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。
- 漁業関連施設については、整然とした作業場・収納スペースをつくる。
 - ・ 使いやすい作業場、効率的な収納などにより、漁具やゴミなどを乱雑に放置しない。困障や竹垣などで目隠しを行う。

備考

- 海浜へのアプローチ道路からのビスタライン[※]を遮らない配置とする。
 - 富士山、高麗山、江の島など、ランドマークへビスタライン[※]を遮らない位置とする。
 - 可能な場合は周辺他施設と複合化を行う。
 - 塗料など消耗品は入手容易なものとする。
- ※) ビスタライン: 視線のこと。この場合は海やランドマークへの視線。

参考事例



ゲート

シンプルで軽快なゲートである。場所ごとの性格に合わせ、色彩を工夫する必要がある。



スピーカー

- 葛西臨海公園 江戸川区
- 軽快性の高いデザインボールのスピーカー。ボールは先が細いテーパーボールであり軽さを演出している。湘南では、明るい白系の色彩とする必要がある。

⑥ 海水浴場関連施設

デザインテーマ

- 明るい景観をつくる。
- ビスタライン[®]を遮らない。
- ゾーンの個性を伝える。
- キーワード
〔開放感〕
〔眺望〕
〔物語性〕

デザインの留意事項

- 海辺の開放感を妨げない。
 - ・ 色が特に強く、かつ海辺にふさわしくないものは使用しない。
 - ・ 規模は必要最小限とし、立面として周囲に圧迫感を与えないもの。
- 海辺の自然環境と調和した素材を使用する。
- 軽快でシンプルな形態とする。
- 海水浴場については、それぞれごとに個性を演出する。
 - ・ デザイン・色彩の統一を行い場所の個性を演出する。
- 再利用するものはユニット化などを行い、組み立て・解体時の破損を最小限度にとどめるなど、美しさを長く保てるよう工夫する。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 海の家や海面利用計画など周辺との関連性を考慮し配置を行う。
 - 海浜へのアプローチ道路からのビスタライン[®]を遮らない配置とする。
 - 富士山、高麗山、江の島など、ランドマークへのビスタライン[®]を遮らない配置とする。
 - 塗料などの消耗品は入手の容易なものとする。
- ※) ビスタライン: 視線のこと。この場合は海やランドマークへの視線。

休憩施設



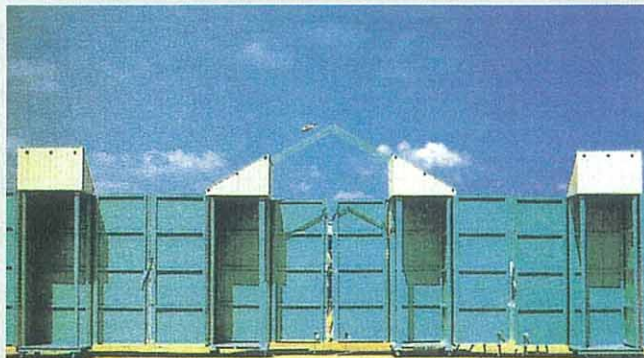
● 葛西臨海公園 江戸川区

柱やブレース基礎などは恒久的利用である。軽量鉄骨のフレームとシート地で構成され、非常に軽快で親しみやすい印象を与えている。シャワーも付属されている。



● 金沢海浜公園 横浜市

軽量鉄骨のフレームとシート地で構成された、半円断面の休憩所である。内部には、休憩、更衣、ロッカーなどの施設が整っている。湘南の場合には、白系統の色彩とすることが好ましい。



● ローワーマンハッタン

壁とボックスの組み合わせにより更衣スペースなど多用途な利用が可能である。イベントなどの一時的な利用にも適している。左: 壁として利用した場合。右: 更衣スペースとして利用するため開いた場合。

参考事例

色彩の工夫



●ニース

同色のパラソルが集合し、整然とした美しい景観をつくっている。海浜のリゾートとして質を高めている。



●ニース

テラス、照明器具、イス・テーブルなどの色彩が統一され、整然とした美しい景観をつくっている。海辺にふさわしい基調色で統一することが望ましい。

監視所



●万座ビーチ 沖縄県恩納村

木造に船舶用ペイントを使用し耐久性を高めている。白を基調に青い屋根、サーフボード、吹き流しなどでアクセントをつけ、楽しさを演出している。



●カリフォルニア

木造の構造体とポリカーボネート板で構成されている。透けた壁により、軽快性と開放性を高めている。

パラソルの工夫



●オクマビーチ 沖縄県国頭村

パラソルを整然と並べるため、砂浜にサヤ管を埋め(左)、パラソルを差している(右)。サヤ管には、小さなゴミ箱がセットされており、パラソル回収の時にゴミも回収するシステムとしている。



① 高木植栽 (樹種については次ページ参照のこと)

デザインテーマ	●道路のスカイラインを広く見せる。 ●群としての軽快なリズム感。 ●キーワード 〔開放感〕 〔軽やかさ〕	デザインの留意事項	●海辺にふさわしい明るい雰囲気の中木とする。 ●道路のスカイライン・開放感を高めるため、必要最小限の数量とする。 ●耐潮性、耐風性、耐大気汚染性に優れており、飛砂に対しても強いものとする。 ●メンテナンスが容易な樹種とする。	備考	●ピッチや配列は、照明、車両出入り口部などを考慮し、決定する。 ●道路緑化技術基準により決定する。
---------	--	-----------	---	----	--

② 低木植栽・路肩緑化 (樹種については次ページ参照のこと)

デザインテーマ	●面として道路を縁取らない。 ●道路外へ眺望が抜ける。 ●リゾートの楽しさと明るさを演出する。 ●キーワード 〔開放感〕 〔眺望〕	デザインの留意事項	●海辺にふさわしい明るい雰囲気の中木とする。 ●車内からの眺めを妨げない高さとする。70cm以下が望ましい。 ●耐潮性、耐風性、耐大気汚染性に優れており、飛砂に対しても強いものとする。 ●メンテナンスが容易な樹種とする。	備考	●ピッチや配列は、照明、車両出入り口部などを考慮し、決定する。 ●道路緑化技術基準により決定する。
---------	--	-----------	---	----	--

③ 彩り(花) (樹種については次ページ参照のこと)

デザインテーマ	●リゾートの楽しさと明るさを演出する。 ●キーワード 〔楽しさ〕	デザインの留意事項	●公園の出入口、バス停前後、歩道切り開き部には花木を配置し、華やかさとリズム感をつくる。有効歩道幅員6m以上は歩道内にも配置する。 ●飛砂防備保安林内にも花木を配置し、彩りによる変化をつける。 ●花木は、季節ごとの変化を楽しめるように四季折々の花を植えるなど工夫する。 ●道路外部分(路肩)の緑化については、海辺のワイルドフラワー*などを配置し、華やかな雰囲気と、季節ごとの変化を演出する。 ●歩道内にフラワーポットの草花を持ち込むなどの工夫をする。	備考	●道路緑化技術基準により決定する。 ●占用許可基準に基づいた設置とする。 ※)ワイルドフラワー:その場所に自生が可能な草花のこと。
---------	---	-----------	---	----	---

④ 砂防柵

デザインテーマ	●海辺の自然環境に溶け込むようなもの。 ●キーワード 〔開放感〕 〔自然〕	デザインの留意事項	●自然素材やそれに近い素材を使用する。 ●明るい海辺の環境に調和する昔ながらの竹垣をイメージさせる色彩とする。 ●海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。	備考	●国道134号北側歩道の外側の高木花木や、歩車道境界の連続植栽帯を保護する必要がある場所に設置する。(下図参照)
---------	--	-----------	--	----	--



●鎌倉海岸 鎌倉市
公園の植栽に取り付けられたプラスチック製の砂防柵。防風効果も高く、褪色や破損に対する耐久性も高い。



●片瀬東浜 藤沢市
歩車道境界の植栽帯に設置された自然竹使用の垣根である。

樹種選定の考え方

●樹種は、耐潮性、耐大気汚染性、耐風性（飛砂）、樹形、枝下高さなどを考慮し選択する。

①維持管理の容易性からの選択

耐大気汚染性のある樹種

常緑
イヌマキ、カヤ、ラカンマキ、 カイヅカイブキ、サザンカ、 コウヨウサン、ヒノキ、クスノキ、 ツバキ、シロダモ、ゲッケイジュ、 サンゴジュ、タブノキ、 ヒイラギモクセイ、マテバシイ、 ユズリハ、ナギ、キョウチクトウ、 ヤマモモ、モッコク
高木
アオキ、イヌツゲ、ヤツデ、 ナワシログミ、アセビ、 ウバメガシ、クチナシ、サカキ、 シンチョウゲ、シキミ、ヒイラギ、 ヒサカキ、アベリア、クサツグ、 トベラ、シャリンバイ、 ピラカンサス、ヒイラギナンテン、 オオムラサキ
低木

耐潮性のある樹種

常緑
イチイ、キョウチクトウ、クロマツ、 サンゴジュ、ツバキ、 トウネズミモチ、マキ、 モリシマアカシア、モッコク、 ユズリハ、シロダモ、 ヤマモモ、ヤシ類
高木
イボタノキ、シャリンバイ、ツゲ、 トベラ、ハイネズ、 ハマヒサカキ、ウバメガシ、 マサキ、アメリカテイゴ、 ナワシログミ、シンチョウゲ
低木

耐風性のある樹種

常緑
アカマツ、イヌマキ、クロマツ、 シラカシ、タブノキ、クスノキ、 サザンカ、ツバキ、マテバシイ、 シイ、ヤマモモ、ヒメユズリハ、 ヤブニツケイ
高木
ハマヒサカキ、トベラ、 ナワシログミ、マサキ、イボタノキ
低木

②街路樹としての適性からの選択

整形美・シンボル性の高い樹種

常緑
クロマツ、モッコク、カヤ、ヒノキ、 クスノキ、ツバキ、シロダモ、 ヤマモモ、アカマツ、ヤシ類

緑陰・枝下高の高さを備えている樹種

常緑
トウネズミモチ、ヤマモモ、 カクレミノ、クスノキ、タブノキ、 ユズリハ、モッコク、マテバシイ、 ヤブニツケイ、ヤシ類

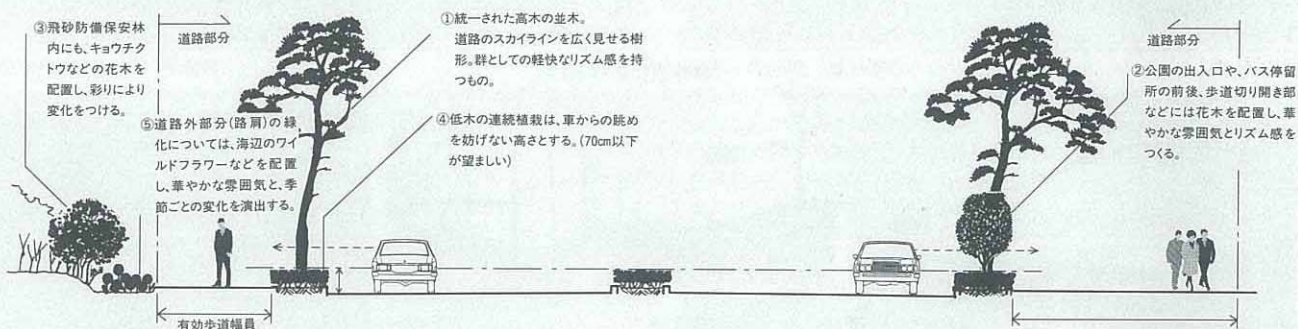
その他

常緑
モリシマアカシア、ツバキ、 サザンカ、キョウチクトウ、 モッコク、トウネズミモチ、 ヒイラギモクセイ
花
サンゴジュ、イチイ、マキ、 トウネズミモチ、モッコク、 ヤマモモ、ツバキ、シイ、 マテバシイ
実
モッコク、サンゴジュ
断芽

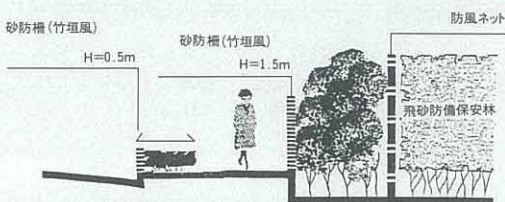
①②について多く共通項を持つ樹種

高木
●クロマツ ●照葉樹（ホルトノキ・ タブノキ・クスノキ・キョウチクトウ など）
低木
●ハマヒサカキ ●トベラ ●シャリンバイ ●マサキ ●ツゲなど

●高木・低木・路肩緑化・飛砂防備保安林内について



●砂防柵について



樹種の選定例

●高木について



ホルトノキ（ホルトノキ科）



クロマツ（マツ科）



キョウチクトウ（キョウチクトウ科）



アメリカテイゴ（マメ科）



ハマボウ（アオイ科）

●低木について



ハマヒサカキ



トベラ



シャリンバイ

●路肩緑化について



ハマヒルガオ



ハマナデシコ



ハマカンソウ

歩道内への樹木の設置



●鎌倉(上) サンディエゴ(下)

広幅歩道には、歩道内に樹木を配置し、うるおいを演出する。



●横浜博 横浜市

フラワーポットにより、歩道内に草花を持ち込み華やかさを演出している。自然性の高い木製のもの、シャープな印象の金属製のものを使い分けている。



●沖縄市

フラワーポットにより、歩道内に花木を持ち込んだ例。素焼きのポットや花木と草類の組み合わせにより楽しさを演出している。



歩車道境界植栽



●国道58号 沖縄県名護市

道境界および中央分離帯に高さの低い草花の植栽を使用し、明るく開放感の高い道路景観をつくっている。



●片瀬県道 藤沢市

歩車道境界の植栽帯を車の視線より低く押さえている。道路外への眺望が確保され、開放感のある道路景観をつくっている。

路肩緑化



●国道134号 平塚海岸 平塚市

路肩に自生している花が、楽しい道路空間をつくっている。ワイルドフラワーによる路肩緑化はメンテナンスの労力を軽減する。

⑤ 防風ネット

デザインテーマ

- 面として道路を縁取らない。
- 海辺の自然環境に溶け込むようなもの。
- キーワード
〔開放感〕
〔自然〕
〔軽やかさ〕

デザインの留意事項

- 自然景観に溶け込み存在感が小さく、海浜部の開放感を妨げないものとする。
・背景の色彩に溶け込み存在感を感じさせぬようネットの色彩を工夫する。
- ネットとフレームの接合部はシンプルな構造とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。

備考

- 現在、国道134号北側においては、防風ネットの取り外し実験中であり、結果により取り外しを検討する。
- 防風ネットの前面に照葉樹を配置し、無機質なネットが直接見えないよう工夫する。さらにその前面に砂防柵を設置する。堆積砂によるネット下部の破損を防ぐ効果もある。

シンプルなネットと柱の接合



●稲毛海浜公園 千葉市

ネットと柱の接合にシンプルでスッキリとした形態の取付け方法を採用している。

色彩



●茅ヶ崎海岸 茅ヶ崎市

飛砂が多く強度が必要な下部や中間部は、強度が高く、背景の飛砂防備保安林の緑に調和する暗緑色のネットを使用し、飛砂の少ない上部(特に飛砂防備保安林から飛び出した部分)は、背景の空に溶け込む高明度色・低彩度色のネットを使用している。

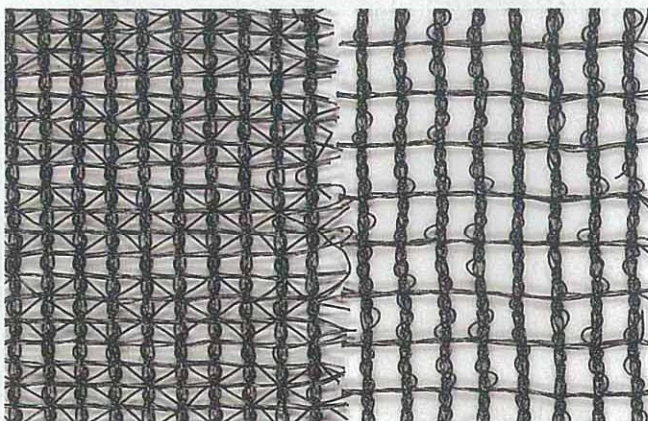
防風ネットの足元植栽



●茅ヶ崎海岸 茅ヶ崎市

防風ネットの前面に照葉樹を配置し、無機質なネットが直接見えないよう工夫している。飛砂防備保安林の上部に飛び出した防風ネットは、背景の空に溶け込むよう色彩の工夫が必要である。

ネットの編み目の変化



●飛砂が多く強度が必要な下部や中間部は、目の詰まったネット(左)を使用し、飛砂の少ない上部(特に飛砂防備保安林から飛び出した部分)は圧迫感や存在感の少ない目の粗いネット(右)の使用を検討する。

参考事例

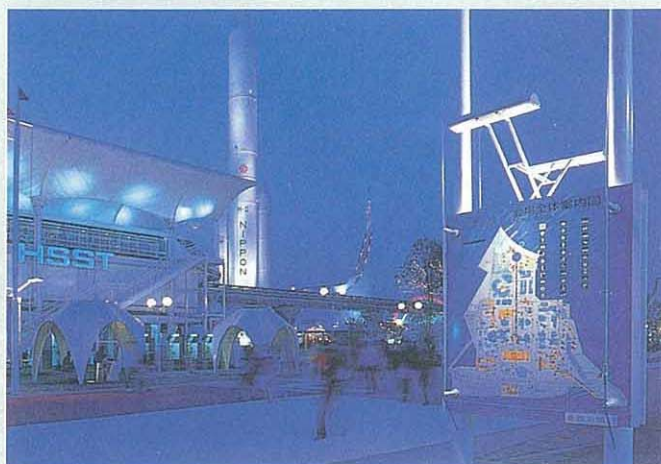
⑥ サイン

- 都市的リゾートの明るく洗練された華やかさ。
- 眺望を妨げない。
- 軽快なリズム感。
- キーワード
[楽しさ]
[開放感]
[軽やかさ]

- 周辺環境に調和した面積・数量とする。
 - ・必要最小限の面積とする。
 - ・異種のサインをまとめるなどの工夫で本数を減らす。
- 軽快・スマート・先進性を感じられるデザインとする。
- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のあるものとする。
- 表示が汚れたり褪色しにくく、汚れが落ちやすいものとする。

- 分りやすい場所に、見やすい向きを考え設置する。
- 主要交差点、主要な海浜部へのアプローチ路、駅前、駐車場などに集約し効率良く配置することにより本数を減らす。
- 眺望や視線を遮らない場所に配置する。
- サインの表示は消耗品として考え、版下などは再版に備え保存しておくことが望ましい。
- 地域のサインのイメージを伝えるため、地域全体として形状や色彩を統一することが望ましい。
- 「占用許可基準」に基づいた設置とする。

総合案内サイン



●横浜博 横浜市

白と青のコントラスト、シャープな線で構成されたデザインにより、スマートで軽快な海辺の雰囲気表現している。また、楽しく明るい色使いとデザインにより、祝祭性を表現している。



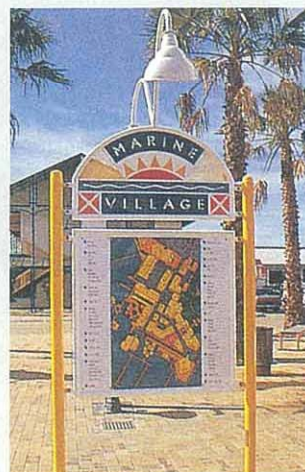
●川崎駅 川崎市

ステンレス鏡面仕上げのスマートな感触と、シャープなエッジで構成され、都会的な先進性と強い個性を感じられる。異なる幾つかのサインをデザイン統一してまとめている。海辺でステンレスを素地で使用する場合は耐潮性の高いものを選ぶ必要がある。



●名古屋市

ステンレスパイプのフレームとサイン板で構成されており、シャープなイメージと親しみやすさを同時ににつけている。サインの目印となる個性的なデザインである。



●ゴールドコースト オーストラリア

クィーンズランド州
白・黄・赤・青の原色で構成された色彩、親しみやすいデザインにより、明るく楽しい海辺の雰囲気表現している。夜間の利用に対応して照明器具が取り付けられている。



●桜木町駅 横浜市

細いシンプルな支柱の組み合わせと、隙間の多いデザインでスマートな印象を与えている。これに加え、雁行した配置により、軽快なリズムをつけている。異なる幾つかのサインをデザイン統一してまとめている。

誘導サイン



●ヒルトンヘッドアイランド サウスカロライナ州

自然素材を使用し、周辺の自然環境に溶け込んでいる。公園景観ゾーンや自然景観ゾーンに適したデザインと言える。表示のシンボルは周辺地区一帯で統一されており、分かりやすいサインシステムとなっている。



●横浜博覧会 横浜市

左:歩行者誘導サイン 右:自動車誘導サイン

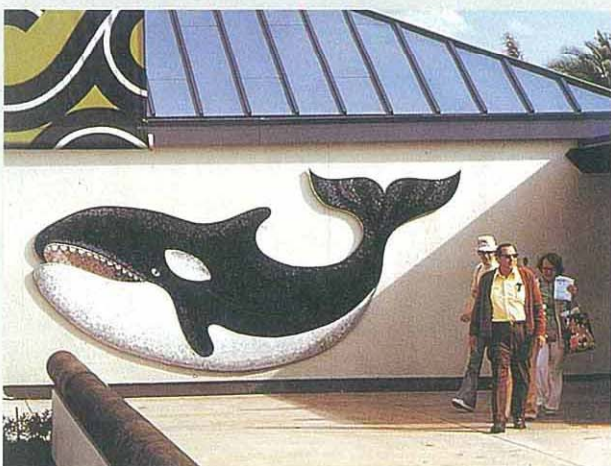
圧迫感や重たい印象を与えがちな板面を、曲面主体の形態や色彩の工夫により、軽快な雰囲気に変えている。

施設サイン



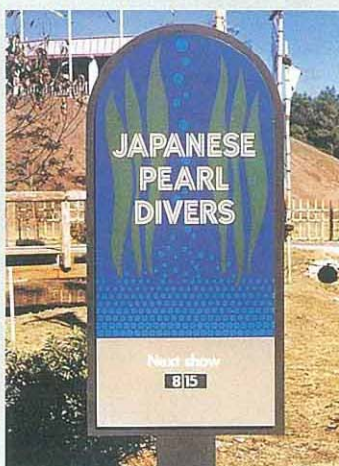
●セントーサ島 シンガポール

海岸沿いの名所を巡る観光バスのサイン。分かりやすいグラフィックで、それぞれのルートの内容が示されている。サインのグラフィックは全て統一されており、非常に親切である。



●シーワールド フロリダ州

施設のイメージにふさわしいグラフィックによる施設の紹介サイン。シンプルで分かりやすく海辺を感じさせるデザインである。高度なグラフィックの技術を用い、誘目性を高め、注目させる工夫がされている。



●カリフォルニア州での総合サイン計画の試み

無数の海浜リゾートを持つカリフォルニア州では、市民の海へのアクセスは極めて重要なものとして位置づけられている。1972年には、総合的な沿岸域の計画をつくるため、カリフォルニア・コースタル・コミュニケーションという名の団体がつくり、1983年に沿岸域の総合的なガイドブックであるコースタル・アクセス・ガイドが出版、海への誘導および施設案内サインの設置が始まった。その内容は、一般市民が海岸へ行くのにどの道を行けば良いか。そこにどれだけの施設が整備されているのか。利用可能か。海岸で憩い遊ぶことができるように配慮されているか。などがわかるように、わかりやすい地図、グラフ、図案化されたサイン標識など細かな工夫がされている。



デザインやシンボルマークが統一されているサイン板

SYMBOL LEGEND

・駐車場、トイレ、シャワー、岩場・砂浜の別、身体障害者のための施設の有無などがわかりやすいシンボルで表示されている。

自転車道	 Bike Path Ruta de Bicicleta Đường Xe Đạp 單車小徑	ボート	 Boat Rental Lancha de Renta Cho Thuê Thuyền 小船租賃	船	 Boat Launching Ramp Rampa para Lanchar Bên Tàu 放船處	バス	 Bus Stop Parada de Autobus Bên Xe buýt 公共車站
キャンプ	 Camping Pareo de Campo Cắm Trại 露營處	ダイビング	 Diving Clavados Chỗ Dể Lặn 潛水處	駐車料金	 Parking Lot/Fee Lotes para Estacionarse Đậu Xe Trả Tiền 收費停車場	遊覧船	 Excursion Boats Excursiones en Lancha Thuyền Di Chơ 遊覽船
障害者施設	 Facilities for Diasabled Facilidades para Incapacitados Phương Tiện cho Người Tàn Tật 傷殘用設備	火気	 Firepits Chimeneas Được Phép Nấu Nướng 野火爐	釣り	 Fishing Pescando Được Phép Câu Cá 釣魚處	登山	 Hiking Trail Camino de Montaña Đường Mòn 登山小徑
案内所	 Interpretive Center/ Museum Centro de Interpretes/ Museo Viện Bảo Tàng Có Hướng Dẫn 博物館諮詢處	ライフガード	 Lifeguard Salvavida Trạm Kiểm Soát 救生員	路傍駐車	 Street Parking Estacionamiento en la Calle Nơi Đậu Xe 路傍停車	ビーチ	 Easy Beach Access Entrada Facil a la Playa Có Đường Ra Biển 沙灘捷徑
食事場	 Picnic Facilities Facilidades para Comer Được Cắm Trại 野餐處	児童遊園	 Playground Campo de Recreo Dành Cho Trẻ Em 兒童遊戲場	レンタル	 Rental Equipment Renta de Equipo Xe Cho Thuê 娛樂用具租賃	トイレ	 Restrooms Servicios Sanitarios Nhà Cầu 洗手間
レストラン	 Restaurants Restaurantes Nhà Hàng 餐館	磯石灘	 Rocky Beach Playa Rocoso Bãi Biển Có Đá 礁石灘	砂浜	 Sandy Beach Playa Arenoso Bãi Cát 沙灘	シャワー	 Showers Baños Nơi Để Tắm 淋浴處
釣り船	 Sport Fishing Boats Lanchas para Pescar Thuyền Câu Cá 釣魚娛樂船	階段	 Stairs to Beach Escaleras a la Playa Cầu Thang Ra Biển 沿梯往沙灘	サーフィン	 Surfing Pareo sobre las Olas Trượt Nước 滑浪板	スイミング	 Swimming Nadando Bơi Lội 游泳
排球場	 Volleyball Bolybol Bóng Chuyền 排球場	野生動物保護区	 Wildlife/Marine Preserve Recerva Marina y Forestal Nơi Cho Sinh Vật Tự Do 海洋生物保護區	桟橋	 Pier Muelle Cầu Tàu 碼頭	浅瀬	 Tidepool Charcos de Mar Vũng Nước Can 淺浪灘

資料提供:(社)海洋産業研究会 中原 裕幸氏

⑦ 建築物(一般)

デザインテーマ

- 明るい、開放的な景観をつくる。
 - 緑豊かな潤いある景観をつくる。
 - ゾーンの個性を伝える。
 - キーワード
- 〔開放感〕
〔自然〕
〔物語性〕

デザインの留意事項

- 自然景観に溶け込み、存在感が小さいものとする。
- ヒューマンスケールの施設規模、勾配屋根などの形態の工夫により、親しみやすい形態とする。
- 施設配置は、開放感や眺望を損わないものとする。
- 色彩は、開放感・軽快さがあり、かつ、周囲の建物・緑などを調和したものとする。
- 植栽の工夫により潤い、華やかさを演出する。
- その場所の歴史や活動をイメージさせる工夫を行う。
- 低層部は、ファサードや色彩の工夫により活気ある街並みを演出する。
- 看板の大きさ・配置・数を整え、落ち着いた景観をつくる。

備考

- 可能であれば、近接あるいは隣接する建築物との複合化やデザインの統一を行う。
- 付属の駐車場についても、緑の多い潤いある空間とし、周囲から直接駐車車両が見えないよう緑化を行う。
- 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。



● 壁面後退と公開空地

壁をセットバックさせ、建物による圧迫感を和らげている。セットバックした部分は、緑化を行い潤いを与えている。また、歩道との一体化により開放感を出している。



● 壁面後退と前面緑化

緑を斜面状に使い、豊かな緑を演出している。マウンドアップされた緑は、飛砂から建物などを守る効果もある。



● 角地の壁面後退と前面緑化

角地でのセットバックは、街角にオープンスペースをつくり、開放感を高める効果大きい。地被類の植栽により、さらに開放感を高めている。建物のデザインを一層さわだてて見せる効果もある。



● 建物周囲

正面だけでなく、側面や裏通りにについても建物のセットバックと緑化を行っている。雑然とした印象の建物の裏側も、少しの配慮で快適な空間となる。



● 建物内の駐車場出入口

駐車場出入口にも緑化がされ、緩衝的な効果を高めている。駐車場から出る場合の安全確認の場所としても機能する。



● 目隠し緑化

雑然とした印象を与える建築設備の周囲を緑化することにより、通りからの印象を良くしている。建物の2階のテラスなどにも応用できる手法である。

参考事例

<参考>建築物の色彩についての考え方

〔都市景観ゾーン〕

●壁面基調色範囲

建築物の壁面基調色は、統一感のある明るい海辺の街並みを創造するために明度8未満の色彩を使用しない。また、けばけばしいイメージになりやすい、高彩度色の使用もさける。具体的には、R・YR・Y・GY系で彩度3を越える色、その他の色相では彩度2を越える色の使用を控える。

●色彩の範囲は、JISの標準色票により、次の範囲とすることが望ましい。

●外壁

R・YR・Y・GY系の色相を使用する場合は、彩度3以下、明度8以上とする。その他の色相を使用する場合は、彩度2以下、明度8以上とする。

●屋根面の色彩範囲

屋根面の色彩もけばけしいイメージにならないように、図に示すような低彩度の落ち着いた色彩を使う。屋根面は一般に低明度色を使用するが、建築形態との関係で高明度色の使用も認める。

●賑わいの演出

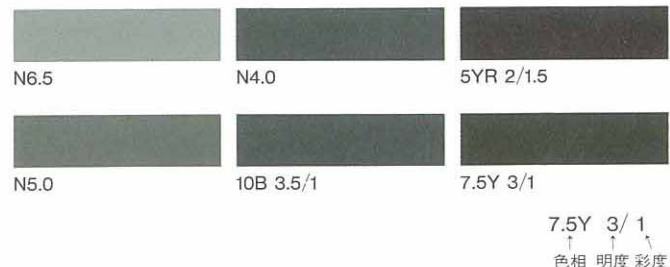
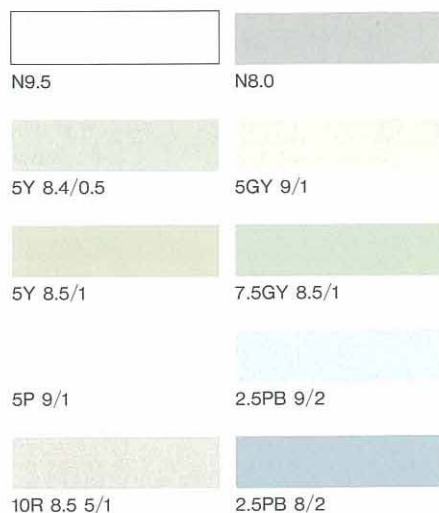
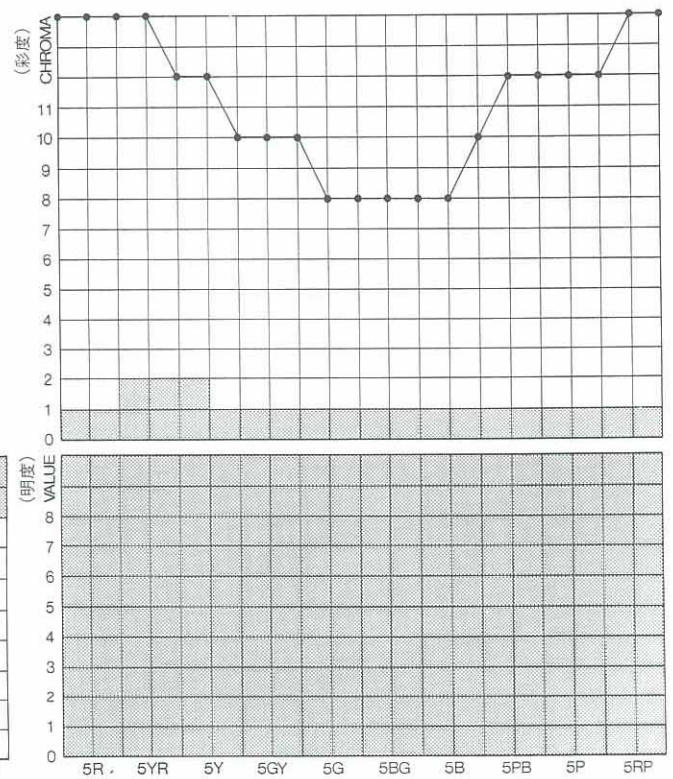
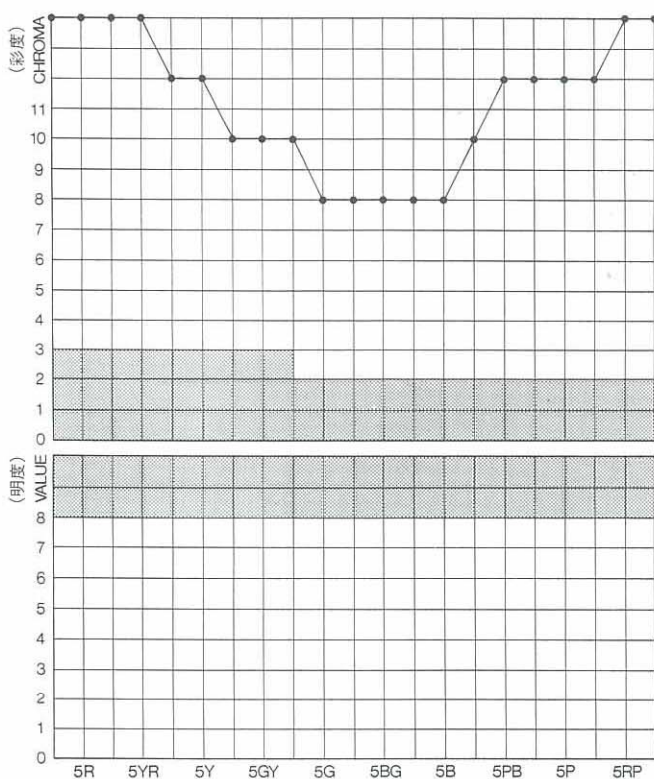
建築外装の低層部分は、海辺の街の賑わいを演出するため、色彩の扱いは自由とするが、建築全体の配色バランスを考え美的な外観となるように心掛ける。

●建築外装材の選択

建築外装材は、街並みの連続性を考え、周辺の建物と極端にイメージの異なる素材は避ける。明るく近代的なイメージの素材を基本とする。

●屋根

YR系とY系までの色相を使用する場合は、彩度2以下とする。R・G・B・P系などの他の色相を使用する場合は、彩度1以下とする。



マンセル値と色差

マンセル値は、色を表すための世界的な表色系で、日本では、JIS規格に採用されている。マンセル値は、色相(Hue)、明度(Value)、彩度(Chroma)の色の三属性を組み合わせると一つの色を表示するものである。

色相は色合いを示し、赤(R)・黄(Y)・緑(G)・青(B)・紫(P)の5つの色相に分割され、さらに10色相、40色相、さらに細分化される。

明度は明るさを示しており、理論的な完全吸収の黒が0、完全反射の白が10でその間が分割される。色相をもたない無彩色は、N9の様にNをつけて表わされる。

彩度は鮮やかさを示し、無彩色が0で鮮やかになるにつれて数値が大きくなる。赤・黄系は14程度、青系は8・10程度の彩度となる。以上の様にマンセル表色系は、色相・明度・彩度の三属性によって構成される色立体とよばれる三次元空間である。

[公園景観ゾーン・自然景観ゾーン]

●壁面基調色範囲

建築物の壁面基調色は、湘南なぎさの豊かな自然景観の見え方を阻害しないように、図のような低彩度色を使用する。明度は5以上とするが、8.5以上の高明度色を使用する場合は、屋根をデザインするなどして誘目性が高くなりすぎないように配慮する。

●屋根面の色彩範囲

公園・自然景観ゾーンの建築物は、周囲の自然景観と融和するよう傾斜屋根を設けることが望ましい。屋根面の色彩は図に示すように落ち着いた低明度・低彩度色とする。また光沢の強い素材は避け、自然景観との調和を計る。

●アクセントカラーの使用

建築外装におけるアクセントカラーの使用は外観を退屈なものにしないために必要であるが、中・遠景レベルでも目立つような面積の大きな、対比の強い使い方は、公園景観ゾーン・自然景観ゾーンでは控えるべきである。

●建築外装材の選択

公園景観ゾーン・自然景観ゾーンの建築物に使用する外装材は、自然景観色との違和感が少ない素材を選定する。一般的には自然石や木材や光沢の少ないタイルなどがこれにあたるが、周辺との調和を考えた十分な配慮が必要である。

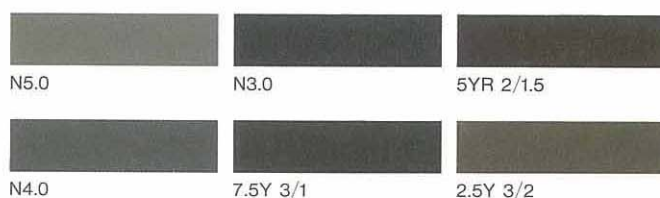
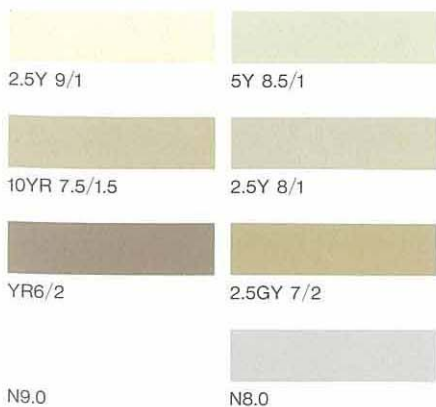
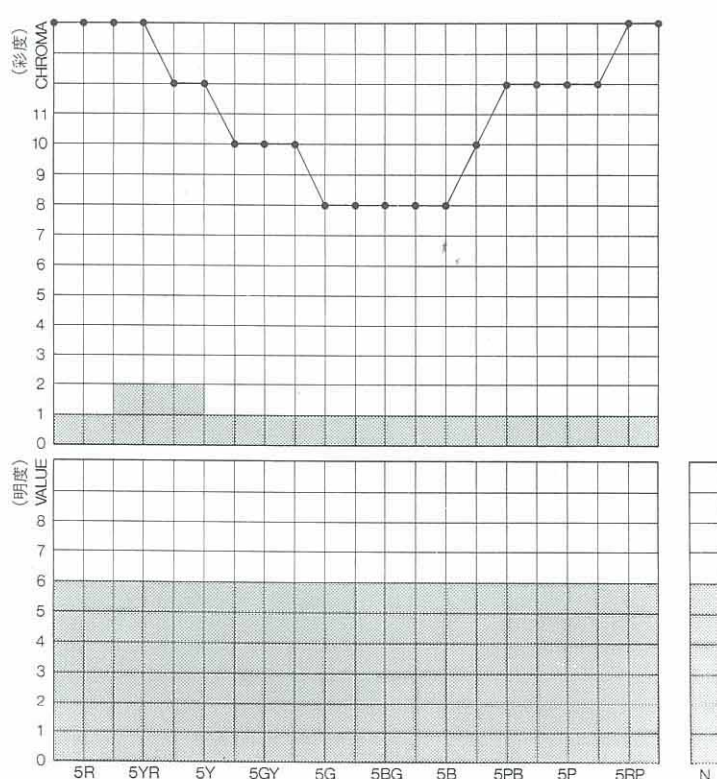
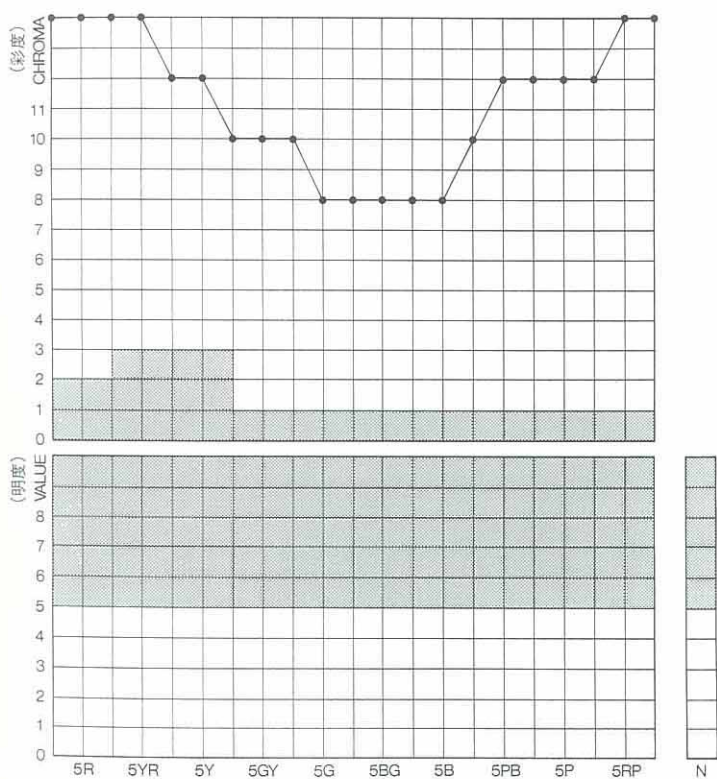
●色彩の範囲は、JISの標準色票により、次の範囲とすることが望ましい。

●外壁

YR・Y系の色相を使用する場合は、彩度3以下、明度5以上とする。R系の色相を使用する場合は、彩度2以下、明度5以上とする。その他の色相を使用する場合は、彩度1以下、明度5以上とする。

●屋根

YR・Y系の5Yまでの色相を使用する場合は、彩度2以下、明度6以下とする。R・G・B・P系などの他の色相を使用する場合は、彩度1以下、明度6以下とする。



⑧ 建築物(利便施設)

デザインテーマ

- 明るい景観をつくる。
- ビスタライン*を遮らない。
- ゾーンの個性を伝える。
- キーワード
[開放感]
[眺望]
[物語性]

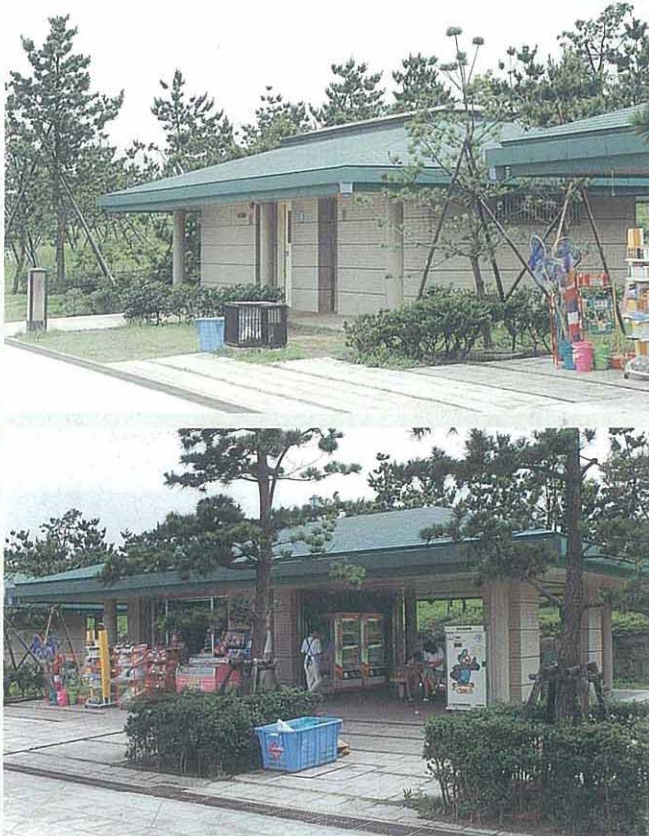
デザインの留意事項

- 海辺の開放感を妨げない。
 - ・ 色が特に強く、かつ海辺にふさわしくないものは使用しない。
 - ・ 規模は必要最小限とし、立面として周囲に圧迫感を与えないものとする。
- 人的な破壊に対して強く、補修が容易なものとする。
- 海辺の自然環境と調和した素材を使用する。
- 軽快でシンプルな形態とする。

備考

- 海辺へのアプローチ道路からのビスタライン*を遮らない配置とする。
 - 富士山、高麗山、江の島などランドマークへのビスタライン*を遮らない配置とする。
 - 塗料などの消耗品は入手の容易なものとする。
 - 海辺の環境、特に潮(塩分)に対して耐久性のある素材とする。
- ※) ビスタライン: 視線のこと。この場合は海やランドマークへの視線。

自然環境に配慮したレストハウスと公衆トイレ



● 金沢海浜公園 横浜市

周辺の緑に調和し、海辺の開放感も低下させない緑青色の屋根、歩道舗装材と調和した落ち着いた色彩の外壁など、景観上の配慮がされている。敷地周囲は高木により豊かな緑をつくり、前面は開放感を高めるため低木および芝で緑化している。上は公衆トイレ・下はレストハウスであるが、近接して配置されデザインも統一されている。

開放的なつくりの公衆トイレ



● 葛西臨海公園 江戸川区

公衆トイレと休憩スペースの複合施設である。海と運河を望む場所に配置されており、海や運河への眺望が抜けるような開放的なつくりとなっている。木材の天井、自然石の床などの自然素材を効果的に使用している。足洗い場も併設している。

参考事例

⑨ 駐車場

- 砂浜を感じさせる「地」となる。
- 潤いのある緑の多い空間とする。
- キーワード
〔自然〕

- 自然豊かな周辺環境に調和した舗装素材を使用する。
- ・砂浜であることを意識させる質感・色彩の舗装とする。
- ・車止め、ゲートなどのストリートファニチャーについても、自然素材の利用や周辺環境に調和したデザインとする。
- 駐車場内緑化により潤いを高める。
- 周辺のマウンドアップや低木・地被類での緑化により、駐車車両が直接見えない形態とする。
- 明快で効率のよい駐車パターンにより、整然とした駐車場景観をつくりだす。
- 駐車場内部やアプローチ路などでは、できる限り歩行者自転車動線と自動車動線との分離を図り、安全性を高める。

- 上位計画における配置を前提とする。周辺施設との関連性を考慮し、可能な場合は他施設との複合化を図る。
- 路面表示、サインなどによりわかりやすい誘導システムをつくる。
- サインやゴミ箱などは、歩行者動線を考慮した利用しやすい場所に設置する。



●金沢海の公園 横浜市

緑の多い美しい駐車場である。駐車スペースの間にゆったりとした芝生の緑化帯をとり、海辺にふさわしく松で緑化を行っている。



●多摩センター立体駐車場 多摩市

敷地の高低差を利用した2階建ての駐車場である。単調になりがちな壁面を張り出しバルコニーの緑化、道路境界の緑化、屋上の緑化、施設のセットバックなどにより潤いあるものとしている。上部は公園利用されている。



●山下公園立体駐車場 横浜市

人工地盤でマウンドアップした駐車場上部に、緑化や水路の設置などを行い、楽しい都市公園として活用している。



●多摩ニュータウン内商業施設 多摩市

駐車場周囲をパーゴラで囲い藤で緑化を行っている。敷地周辺から見た場合、駐車車両が直接見えず、緑の多い周辺の自然環境に調和している。

参考資料

工事中の仮囲いや工事前の更地の状態も景観の一部であり、周辺の景観に与える影響は非常に大きいものと言えます。特に長い期間にわたる建築行為や、事業計画の定まらない更地の状態

が続くと、それらも街並み景観の一つとなります。これらの状態においても、景観形成の6つのキーワードに沿った景観的配慮を行うことが必要です。

仮囲いなど

デザインテーマ

- 明るい景観をつくる。
- 都市的リゾートの明るく洗練された華やかさ。
- ゾーンの個性を伝える道具。
- キーワード
- 〔開放性〕
- 〔祝祭性〕
- 〔物語性〕

デザインの留意事項

- 明るい海辺の環境に調和する白系統で高明度の色彩とする。
- 見る人々に楽しさを与えるものとする。
 - ・ 海辺のリゾートにふさわしい楽しく洗練された雰囲気、グラフィックや植栽などにより演出する。その場所の歴史や風土などが感じられるグラフィックとする。

備考

- グラフィックの大きさや色彩は、突出して目立つものや、乱雑になるものは避ける。
- 事業内容が明確に分るよう、完成予想図や内容などを紹介する。
- 「占用許可基準」に基づいた設置を行う。

工事現場仮囲い



● 仮囲いは暫定的なものだが、街には大きな影響を与えている。囲いにペンキで絵を書いたり、簡単な植栽を施すことなどのアイデアが、街に対する表情を生き生きとしたものに変えている。絵柄や色使いは湘南にふさわしいスマートで洗練させたものを工夫する必要がある。

緑化



● 多摩ニュータウン
粗造成中の法面にワイルドフラワーの植栽を行うことにより、道路空間に華やかさを演出している。

● 藤沢市
工事中の仮囲いの外側に草花を植え、道路空間に華やかさを演出している。

参考事例

素材・仕上げの紹介

湘南なぎさプラン対象地域は、本文中の設計条件においても紹介しているように、海辺の厳しい気候のため、素材の耐久性が特に重

要視されます。ここでは、一般的に用いられる素材や仕上げよりも、耐久性の点で優れている素材や仕上げについて紹介します。

車止めの素材と仕上げ	
素材	アルミ鋳物
仕上げ	亜鉛溶解メッキ+エッチングプライマー+クロメート処理+メラミン焼付+クリア塗装
道路照明用ポール・転落防止柵など金属部材	
素材	普通鋼
仕上げ	亜鉛溶解メッキ+エポキシ系コート+塩化ゴム系コート+普通塗装
素材	耐候性鋼
仕上げ	パーコカラー塗装システム
素材	耐候性鋼
仕上げ	亜鉛溶射+普通塗装
素材	ステンレス(SUS316、SUS316L)
仕上げ	普通塗装

サイン表示	
素材	アクリル板 ステンレス板(SUS316、SUS316L)
仕上げ	クロマリン印刷(フッ素樹脂フィルムによる多層仕上げ)
素材	ステンレス板(SUS316、SUS316L)
仕上げ	エッチング+色差し+フッ素樹脂クリアー塗装
素材	陶板
仕上げ	素地

砂防柵	
素材	FRPなど(木目調)
仕上げ	素地

ゴミ箱など	
素材	アクリル樹脂
仕上げ	素地

参考文献

1. 一般出版物

- 道路
 - 「道路景観整備マニュアル(案)」/建設省道路局/大成出版社 1988
 - 「街路の景観設計」/土木学会編/技報堂出版
 - 「みち まち アメニティ 地区交通計画の考え方と実践」/建設省都市局都市交通調査室/(社)日本交通計画協会
 - 「まちづくりと歩行者空間」/今野 博 著/鹿島出版会
 - 「美しい橋のデザインマニュアル」/土木学会/技報堂出版
 - 「透水性舗装ハンドブック」/日本道路建設業協会編/山海堂
- 緑化
 - 「グリーンガイドブック」/横浜市緑化センター/(財)横浜市緑の協会
 - 「都市緑化推進計画策定の手引」/建設省都市局緑地対策室/東京法規出版
 - 「都市緑化による都市景観形成事例集」/建設省都市局公園緑地課/ぎょうせい
- 照明など
 - 「都市の夜間景観の演出」/建設省都市局都市計画課/大成出版
 - 「ストリートファニチュア」/西沢 健 著/鹿島出版
- 橋など
 - 「美しい橋のデザインマニュアル」/土木学会/技報堂出版
 - 「橋の美-道路橋景観便覧-」/(社)日本道路協会
 - 「南多摩地区橋梁基本計画調査資料」/住宅都市整備公団/1985
- 水辺
 - 「水辺の景観設計」/土木学会編/技報堂出版
- 色彩
 - 「環境色彩デザイン 調査から設計まで」/カラープランニングセンター編/美術出版社
 - 「新編 色彩科学ハンドブック」/日本色彩学会編/東京大学出版会
- その他
 - 「街づくりガイドブック」/建設省都市局監修

2. 神奈川県および湘南なぎさプラン対象地域自治体の景観形成計画など

- 神奈川県
 - 魅力ある景観づくり指針/都市部・都市政策課/S.62.3
 - 景観形成計画策定マニュアル/都市部・都市政策課/S.62.3
 - 「かながわ景観絵図 魅力ある景観づくりに向けて」/都市部・都市政策課/S.62.3
- 藤沢市
 - 藤沢の都市景観づくり・大規模建築物など景観ガイドライン
 - ・色彩マニュアル
 - ・公共施設のデザインマニュアル
 - ・道路づくりデザインマニュアル
- 平塚市
 - 平成元年度平塚市都市景観形成基本計画に要する基礎調査報告書
 - 平成2年度平塚市都市景観形成基本計画を策定中
- 大磯町
 - 大磯町景観形成計画



湘南なぎさプラン



神奈川県

都市部なぎさ・相模川プラン推進室
横浜市中区日本大通1 丁目23F 電話 (045) 201-1111 (代表)

調査計画/山手総合計画研究所
制作/RIVアソシエーツ
発行日/平成3年3月